

報告事項ウ

令和5年度子どもの読書活動に関するアンケート調査結果について

令和5年度子どもの読書活動に関するアンケート調査結果について、別紙のとおり報告します。

令和6年4月24日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和5年度子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（概要）について

1 目的

「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン第4次計画」の改訂に当たり、子どもの読書に関する実態と課題を把握し、今後の施策に生かす。

2 調査範囲

(1) 地域

鳥取県内全域

(2) 対象者

ア 個人

- ・ 県内の保育所・幼稚園・認定こども園の年長児の保護者
- ・ 県内の小学校・義務教育学校の児童のうち小学3年生、義務教育学校3年生
- ・ 県内の小学校・義務教育学校の児童のうち小学6年生、義務教育学校6年生
- ・ 県内の中学校・義務教育学校の生徒のうち中学3年生、義務教育学校9年生
- ・ 県内の高等学校の生徒のうち高校2年生

イ 事業所

- ・ 保育所、幼稚園又は認定こども園
- ・ 小学校、中学校、義務教育学校又は高等学校

3 報告を求める者

(1) 個人

約2,000人

※学校等への負担を軽減するため、年長児保護者・児童・生徒の報告数は、信頼度95%、標準誤差が±5%の条件を満たすために必要となる最低限の人数とした。

<内訳>

区分	保育所・幼稚園 ・認定こども園 年長児の保護者	小学校・義務 教育学校3年生	小学校・義務教 育学校6年生	中学校3年生 ・義務教育学校 9年生	高等学校2年生
報告者数	約400人	約400人	約400人	約400人	約400人

(2) 事業所

上記アの調査対象者が所属する保育所・幼稚園・学校等 114施設

<内訳>

区分	保育所・幼稚園 ・認定こども園	小学校・義務 教育学校	中学校・義務 教育学校	高等学校
報告施設数	46園(所)	34校	18校	16校

4 調査対象者の抽出方法（無作為抽出）

(1) 個人

ア 年長児保護者

保育所等の年長児の保護者は、鳥取県人口動態統計月別出生数の平成30年4月～平成31年3月分を合計したものを母集団情報とし、同期間中の県東部・中部・西部の圏域別の出生数に比例して報告者数を割り当て、圏域ごとに鳥取県子ども家庭部が作成している保育所・認定こども園（保育所型）の一覧及び令和5年度学校基本調査をもとに鳥取県教育委員会が作成している幼稚園・認定こども園（幼保連携型）の一覧から保育所・幼稚園等を単位として系統抽出した。（選出された保育所・幼稚園等の年長児クラスに在籍する園児の保護者は全員調査対象とした。）

イ 小学3年生・6年生

令和5年度学校基本調査の対象学年の児童数を母集団情報とし、県東部・中部・西部の圏域ごとの市部・郡部別の児童数に比例して報告者数を割り当て、令和5年度学校基本調査をもとに鳥取県教育委員会が作成している学校一覧から学級単位で系統抽出した。

ウ 中学3年生・高校2年生

令和5年度学校基本調査の対象学年の生徒数を母集団情報とし、公立、私立、国立の学校設置者に比例して報告数を割り当て、公立はさらに県東部・中部・西部の圏域に割り当てて、令和5年度学校基本調査をもとに鳥取県教育委員会が作成している学校一覧から学級単位で系統抽出した。

(2) 事業所

ア 園(所)

上記(1)アで系統抽出した保育所・幼稚園・認定こども園とした。

イ 学校

上記(1)イ、ウで系統抽出した小学校・中学校・義務教育学校・高等学校とした。

5 調査方法

(1) 個人

鳥取県から保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校又は高等学校を通じ、調査対象者に調査票を配布し、調査対象者がオンラインを利用し回答する方法により調査を行った。
※年長児保護者はとっとり電子申請システム、児童生徒はGoogle フォームから回答。

(2) 事業所

鳥取県から保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校又は高等学校へ調査票を配布し、調査対象の園(所)又は学校がオンラインを利用し回答する方法により調査を行った。
※園(所)はとっとり電子申請システム、各学校はGoogle フォームから回答。

6 調査期間

令和6年1月26日から2月21日まで

7 調査内容

(1) 個人

ア 保育所、幼稚園又は認定こども園の年長児の保護者

- ・年長児との続柄
- ・ブックスタート・ブックセカンド事業に関する事項
- ・家庭での読書に関する事項
- ・公立図書館の利用に関する事項
- ・電子書籍の利用に関する事項
- ・保護者の読書習慣に関する事項

イ 小学校、中学校、義務教育学校又は高等学校の児童生徒

- ・令和5年4月1日以降の読書習慣に関する事項
- ・過去の読書習慣に関する事項
- ・公立図書館の利用に関する事項
- ・学校図書館の利用に関する事項
- ・電子書籍の利用に関する事項

(2) 事業所

ア 保育所、幼稚園又は認定こども園

- ・読み聞かせの実施に関する事項
- ・選書に関する事項
- ・読書活動の推進に関する事項

イ 小学校、中学校、義務教育学校又は高等学校

- ・読書活動の推進に関する事項
- ・特別支援学級の設置
- ・所蔵資料に関する事項
- ・公立図書館の利用に関する事項

8 回収結果等

	対象	標本数	有効回答数	回収率
個人	保育所、幼稚園又は認定こども園の年長児（令和5年4月1日時点で満5歳の者をいう。）の保護者	(人) 1,010	(人) 325	(%) 32.2
	小学校3年生又は義務教育学校3年生の児童	451	394	87.4
	小学校6年生又は義務教育学校6年生の児童	447	439	98.2
	中学校3年生又は義務教育学校9年生の生徒	506	399	78.9
	高等学校2年生の生徒	508	451	88.8
	合計	2,922	2,008	68.7
事業所	保育所、幼稚園又は認定こども園	(園・所) 46	(園・所) 28	(%) 60.9
	小学校又は義務教育学校	(校) 34	(校) 32	(%) 94.1
	中学校又は義務教育学校	18	7	38.9
	高等学校	16	15	93.8
	合計	114	82	72.6

(本報告の表記等について)

- ・ n は回答に対する回答者数で、比率算出の基数である。
- ・ 回答数の合計が回答者数 (n) より少ない場合は、回答者数 (n) から回答数を除いた数を「無回答」とする。
- ・ 各選択肢の回答率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入しており、単一回答の間では、合計が 100% にならない場合がある。
- ・ 複数回答の間では、回答者数を回答率算出の基礎とし、選択肢の構成比を表すものではないため、各選択肢の回答率の合計が 100% を超える場合がある。
- ・ 学年ごとの調査結果の分析について、保育所・幼稚園・認定こども園の年長児の保護者は「年長児保護者」、小学3年生、義務教育学校3年生は「小学3年生」、小学6年生、義務教育学校6年生は「小学6年生」、両学年の結果をまとめて分析するときは「小学生」とし、中学3年生、義務教育学校9年生は「中学生」、高校2年生は「高校生」と表記する。

9 調査結果の概要

※アンケート調査結果の詳細は別紙のとおり。

※文末の () は、別添アンケート調査結果の設問番号を記載する。

(1) 個人

ア 年長児保護者

(ア) 家庭での読書

- ・ 子どもが本を読むこと(読んでもらうこと)について、「好き」と回答した割合が約9割(88.9%)であった。(問2)
- ・ ブックスタート事業(*)等で配られた絵本の活用について、「よく使った」又は「ときどき使った」と回答した割合が約8割(83.3%)であった一方、「あまり使っていない」又は「使っていない」と回答した割合が約2割(16.6%)あり、配布された絵本を活用していない家庭が平成29年度調査より12.3ポイント増加した。(H29:4.3%→R5:16.6%) (問3)
*すべての乳幼児と保護者に、自治体が行う健診等の際に絵本を手渡し、親子で一緒に絵本を読む大切さ等を伝える事業。
- ・ 家庭で読み聞かせを行わない割合は、約1割(9.5%)で、平成29年度調査と比較すると、3.7ポイント増加した。(問4)

＜家庭において、乳幼児の子どもに絵本などの読み聞かせをしたり一緒に本を読んだ日が1週間で「0回」と回答した保護者の割合＞

	今回 (R5年度)	前回 (H29年度)	前々回 (H24年度)
年長児保護者	9.5%	5.8%	10.4%

(イ) 公立図書館の利用

- ・公立図書館を「利用しない」と回答した割合が約3割(34.8%)と最も高い。(問7)
- ・利用しない理由としては、「幼稚園・保育所・認定こども園で本を借りられるから」が約6割(60.2%)、「借りたり返したりするのが面倒だから」が約5割(54.0%)であった。(問9)

(ウ) 電子書籍の利用

- ・読み聞かせに電子書籍を「利用したことがない」割合は約9割(91.4%)で、平成29年度調査(読み聞かせへの電子端末(タブレットやスマートフォンなど)を「利用しない」割合(83.8%))と比較しても、読み聞かせにおける電子書籍の利用は進んでいない。(問10)

(エ) 保護者の読書習慣

- ・保護者の読書習慣については、「ほとんど読まない」又は「まったく読まない」と回答した割合が5割以上(55.4%)で、保護者が読書をしない家庭が過半数を超えている。
- ・平成29年度調査と比較すると、「よく読む」と回答した割合が5.4ポイント減少した。(H29:14.6%→R5:9.2%)(以上、問12)

イ 児童生徒

(ア) 読書に対する意識

- ・読書を「好き」又は「どちらかというが好き」と回答した割合は、次のとおりであった。
- ・小学3年生は約9割(89.0%)で、平成29年度調査との大きな差はみられない。
- ・小学6年生は約8割(77.0%)で、平成29年度調査より6.2ポイント減少した。
- ・中学生は約8割(82.2%)で、平成29年度調査と大きな差はみられない。
- ・高校生は約7割(67.4%)で、平成29年度調査より7.8ポイント減少した。(以上、問1)

<読書が好きな児童・生徒の割合>

	今回 (R5年度)	前回 (H29年度)	前々回 (H24年度)
小学3年生	89.0%	90.1%	89.7%
小学6年生	77.0%	83.2%	78.4%
中学3年生	82.2%	80.7%	83.3%
高校2年生	67.4%	75.2%	80.4%

- ・類似調査(令和5年度全国学力・学習状況調査(文部科学省))によると、本県の読書が好きな児童・生徒の割合は、全国と同程度である。

<参考>令和5年度全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙調査結果)より

	鳥取県	全国	差(%)
小学6年生	70.8%	71.8%	△1.0
中学3年生	67.9%	66.0%	1.9

- ・読む本を選ぶときは、すべての調査対象において「自分の好きな本を選ぶ」と回答した割合が約9割と最も高い。中学生・高校生では、学校や図書館から勧められた本を選ぶ傾向は低くなり、映画やドラマになった本やTikTokやInstagram等のSNSで話題になった本を選ぶ傾向が高い。(問4)

(イ) 不読率(1ヶ月に1冊も読まない割合)

- ・1ヶ月に「読み終わった本が1冊以上ある」又は「途中まで読んだ本がある」と回答した割合は、小学生では約9割と高く、平成29年度調査と大きな変化は見られない。
- ・「まったく読んでいない」と回答した割合は、高校生では約4割(35.0%)で、平成29年度調査から5.7ポイント増加した。
- ・中学生・高校生は小学生に比べ不読率が高い傾向にある。(以上、問6)

<1ヶ月に1冊も本を読まない児童・生徒の割合>

	今回 (R5年度)	前回 (H29年度)	前々回 (H24年度)
小学3年生	3.0%	4.5%	3.2%
小学6年生	9.8%	7.2%	8.5%
中学3年生	16.0%	14.5%	17.0%
高校2年生	35.0%	29.3%	21.3%

- ・類似調査（第 68 回学校読書調査（全国学校図書館協議会））によると、本県の児童・生徒の不読率は全国と比較して低い傾向にある。

＜参考＞第 68 回学校読書調査より

「あなたは 5 月 1 か月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか」の設問に対して「0 冊」と回答した割合

	2023 年	2022 年	2021 年
小学生（4 年生～6 年生）	7.0%	6.4%	5.5%
中学生	13.1%	18.6%	10.1%
高校生	43.5%	51.1%	49.8%

（ウ）過去の読書習慣

- ・小さい頃、家の人に絵本などを読んでもらった経験については、全体の結果では、「よく読んでもらった」と回答した割合は約 7 割（65.9%）であった。（問 1 0）

（中学 3 年生・高校 2 年生を対象とした調査）

- ・小学生の時に「とてもよく読んだ」又は「よく読んだ」と回答した割合は、中学生では約 8 割（75.2%）、高校生では約 7 割（71.0%）であった。
- ・小学生の時に「とてもよく読んだ」と回答した高校生の割合は 37.5%であるが、中学生の時に「とてもよく読んだ」と回答した高校生の割合は 22.4%に下がり、学年が上がるにつれて読書をする機会が減ることがわかる。（以上、問 1 1）

（エ）公立図書館の利用

- ・月に 1 回以上公立図書館を利用する割合は、小学 3 年生では 5 割（50.0%）、小学 6 年生では約 3 割（29.9%）、中学生で約 2 割（22.6%）、高校生では約 1 割（13.3%）となり、学年が上がるにしたがって公立図書館の利用頻度が減る傾向がみられる。
- ・平成 29 年度調査と比較すると、すべての調査対象で「利用しない」と回答した割合は減少した。（以上、問 1 2）
- ・中学生・高校生が公立図書館に行く理由として、「図書館で宿題や勉強をするから」が 5 割を超えている。（中学 3 年生：50.4% 高校 2 年生：51.7%）
- ・小学生は「図書館には読みたい本があるから」が 7 割と最も高く（小学 3 年生：74.7% 小学 6 年生：71.7%）、学年が上がるにしたがって、公立図書館を利用する理由に変化が見られる。（以上、問 1 3）

（オ）学校図書館の利用

- ・学校図書館の利用頻度は、小学生では「週に 1～2 回」と回答した割合が最も高く、小学 3 年生で約 6 割（63.2%）、小学 6 年生で約 5 割（45.3%）である一方、「利用しない」と回答した割合が、中学生は約 3 割（27.8%）、高校生は約 4 割（43.2%）であり、学年が上がるに学校図書館を利用しない割合が高くなっている。（問 1 5）
- ・学校図書館に行く理由として、小学生、中学生では「図書館には読みたい本があるから」と答えた割合が高い。（小学 3 年生：80.3%、小学 6 年生：67.1%、中学 3 年生：58.0%）また、小学生・高校生では「授業で行くから」と回答する割合が 4 割を超えており、授業での利用が学校図書館へ行く理由のひとつとなっている。（小学 3 年生：42.3% 小学 6 年生：43.9% 高校 2 年生：44.1%）（問 1 6）
- ・図書館に行かない理由として、全体の結果では、「本を読みたいと思わないから」（37.7%）が最も高く、次いで「本は買って読んでいるから」（25.8%）、「借りたり返したりするのが面倒だから」（17.2%）の順となった。（問 1 7）

（カ）電子書籍の利用

- ・電子書籍を「よく利用している」又は「利用したことがある」と回答した割合は、小学生で約 4 割、中学生・高校生では 5 割を超えており、学年が上がるにしたがって利用率が高くなった。（小学 3 年生：41.6% 小学 6 年生：41.4% 中学 3 年生：60.7% 高校 2 年生：59.6%）。（問 1 8）

(2) 事業所（※各対象の回答数が50未満のため参考値として示す。）

ア 保育所・幼稚園・認定こども園

(ア) 読み聞かせの実施

- ・回答のあったすべての園（所）ではほぼ毎日、読み聞かせを実施している。（問1、問3）
- ・回答のあった園（所）すべてで保育士・幼稚園教諭等が読み聞かせを実施しており、その他、読書ボランティアによる読み聞かせも5割（50.0%）あった。（問2）

(イ) 選書

- ・園（所）で購入する絵本や児童書は、「新聞や雑誌、インターネット等で紹介された本から選ぶ」と回答した割合が約6割（57.1%）、次いで「図書館のおすすめ本を参考にする」が約4割（35.7%）、「書店に相談し、おすすめの本から選ぶ」が約3割（25.0%）の順となった。
- ・その他（自由記入）では、職員が子どもの興味や園の活動等に合わせて選ぶ、絵本のカタログを見て選ぶ等の記述がみられ、入手した情報を参考にしながら選書を行っている。（以上、問4）

(ウ) 読書活動の推進

- ・読み聞かせの他に読書への関心を高めるための取組として、「絵本コーナーの設置」が約9割（85.7%）、「家庭への絵本の貸出」が約8割（82.1%）と高い。その他（自由記入）として、絵本だよりを発行し家庭へ読み聞かせの大切さを啓発している、保育参加日の時に親子で絵本を読む時間を設ける等との回答もあり、園（所）や家庭で絵本の利用の推進に積極的な取組が見られる。（問5）
- ・読書活動の推進に取り組む上で課題と感じていることは、「読み聞かせ等に関する職員研修の充実」（53.6%）、「園（所）で購入する絵本や児童書の選書」（46.4%）が約5割となり高い割合となった。（問7）

イ 小学校・中学校・義務教育学校・高等学校

(ア) 読書活動の推進

- ・子どもたちの読書への関心を高めるために、全校種において「本の展示」「おすすめ本の紹介」「授業での図書館利用」「図書館の利用ガイダンス」に取り組む割合が約9割と高い。（問1）
- ・読書活動の推進に取り組む上で課題と感じていることは、全校種で、「ICTを活用した読書推進の取組」が約7割と最も高く、次いで「学校図書館の資料の充実」が5割を超えている。（問8）

(イ) 障がい等に配慮した資料の充実

- ・日本語を母語としない児童生徒は一定数在籍しているが、母語に対応した資料を「所蔵していない」と回答した割合は、小学校で約7割（73.7%）、中学校で約8割（75.0%）、高校で約5割（53.3%）であった。（問3）
- ・特別支援学級がある小学校、中学校において、小学校は約5割（53.1%）、中学校は約9割（85.7%）で障がいの状態や特性等に配慮した資料を「所蔵している」と回答した。（問5）

(ウ) 公立図書館の利用

- ・児童生徒へ公立図書館の利用等について説明を行っている割合は全校種で高く、特に高校では約9割（93.3%）であった。（問7）
- ・障がい等に配慮した資料について、公立図書館に相談したり、資料を借りる等している割合は、小学校で約4割（41.2%）、中学校で約7割（66.7%）、高校で5割（50.0%）であった。（問6-2）

令和5年度 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（年長児保護者対象）

1 調査対象

	年長児保護者
調査対象者数(人)	1,010
有効回答数(人)	325

2 調査結果

問1 お子さんから見た、あなたの続柄を教えてください。(1つ選んでください)

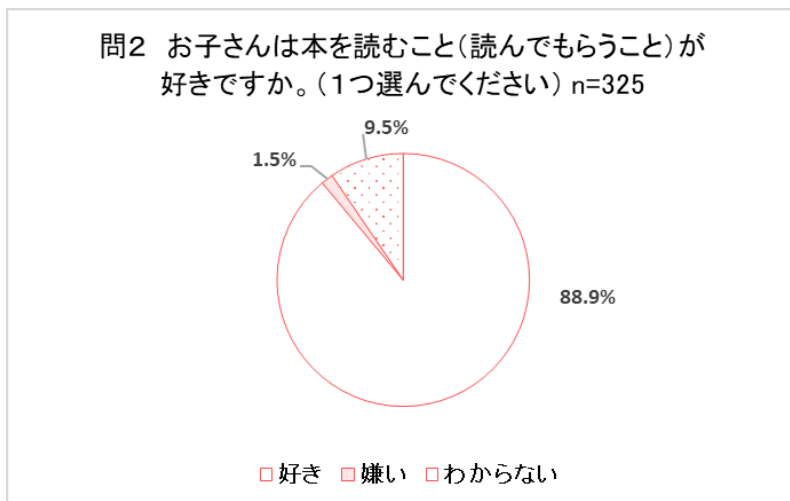
父	母	祖父	祖母	合計(人)
32	292	0	1	325

問2 お子さんは本を読むこと（読んでもらうこと）が好きですか。(1つ選んでください)

【集計結果の概要】

・「好き」と回答した割合が約9割（88.9%）となった。

【図表】



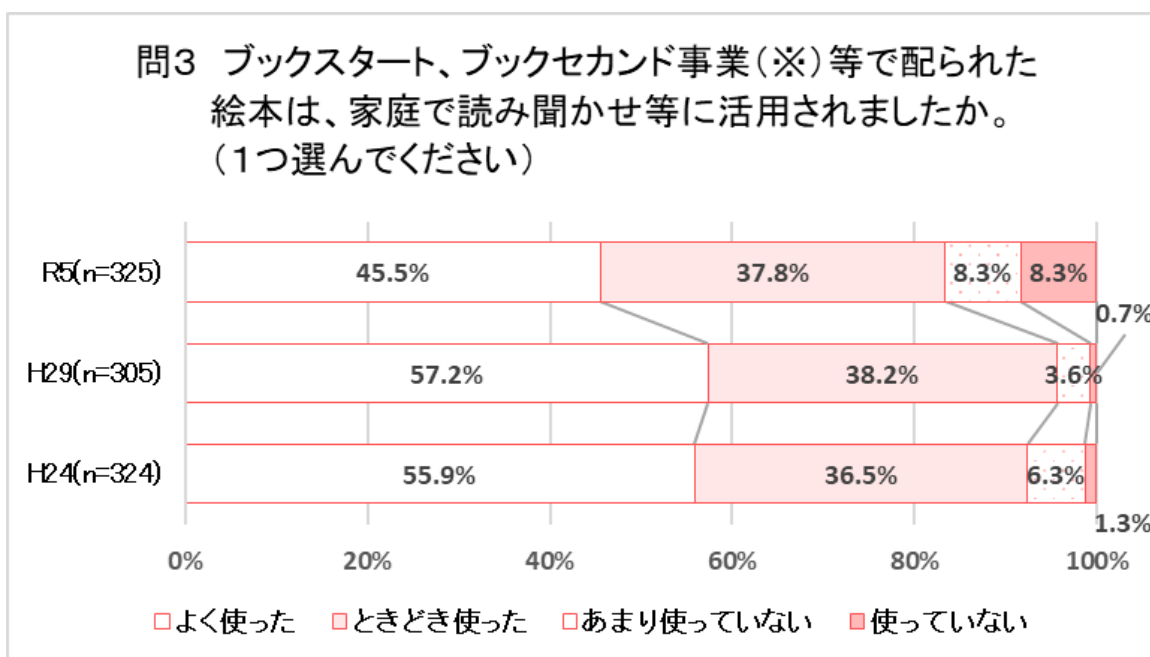
問3 ブックスタート、ブックセカンド事業（※）等で配られた絵本は、家庭で読み聞かせ等に活用されましたか。（1つ選んでください）

（※）「ブックスタート、ブックセカンド事業」とは、0歳児健診や3歳児検診などの機会に、読み聞かせ等の絵本を通じた「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動のこと。

【集計結果の概要】

- ・「よく使った」と回答した割合が約5割(45.5%)、「ときどき使った」が約4割(37.8%)となった。「あまり使っていない」、「使っていない」と回答した割合を合わせると約2割(16.6%)となり、配布された絵本を活用していない家庭が平成29年度調査より12.3ポイント増加した。(H29:4.3%→R5:16.6%)
- ・平成29年度調査と比較すると、「よく使った」と回答した割合が11.7ポイント(H29:57.2%→R5:45.5%)、「ときどき使った」が0.4ポイント(H29:38.2%→R5:37.8%)、いずれも減少した。「使っていない」と回答した割合は7.6ポイント(H29:0.7%→R5:8.3%)の増加となった。

【図表】



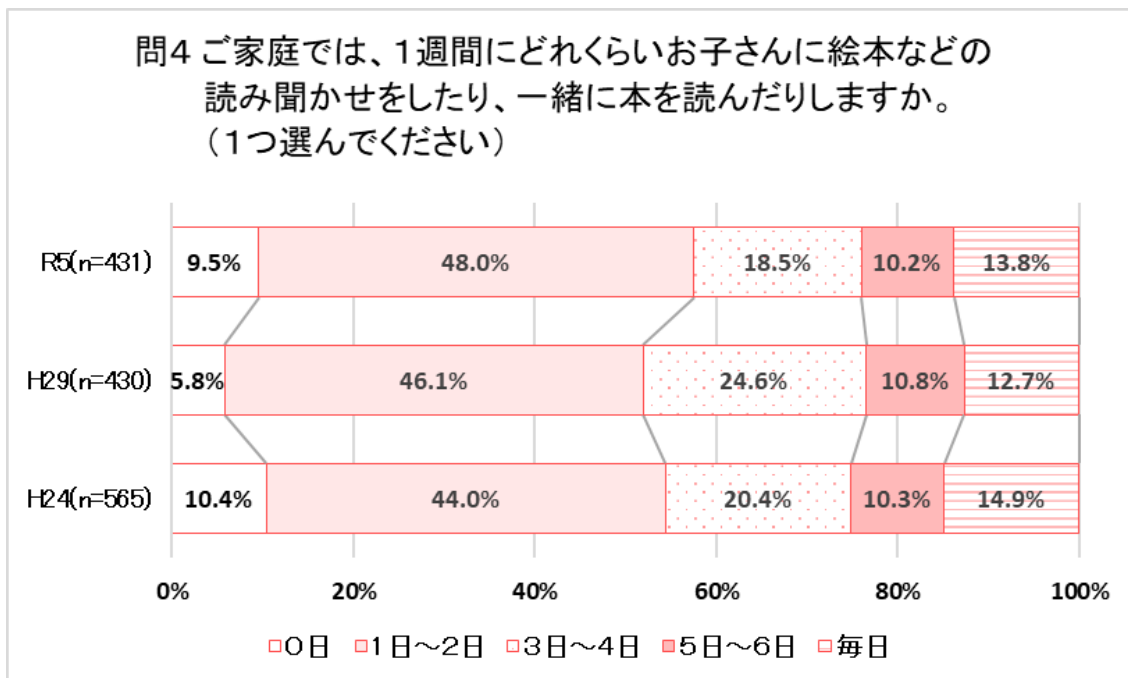
問4 【令和5年4月から令和6年1月現在までの状況をお答えください】

ご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに絵本などの読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしますか？（1つ選んでください）

【集計結果の概要】

- ・読み聞かせを行う頻度は「1日～2日」と回答した割合が約5割（48.0%）、次に「3日～4日」（18.5%）、「毎日」（13.8%）の順に高くなった。
- ・「0日」と回答した割合は約1割（9.5%）であり、平成29年度調査と比較すると、3.7ポイント増加した。（H29：5.8%→R5:9.5%）
- ・「毎日」、「5日～6日」と回答した割合を合わせると、令和5年度調査と平成29年度調査では大きな変化は見られない（H29：23.5%→R5：24.0%）。

【図表】



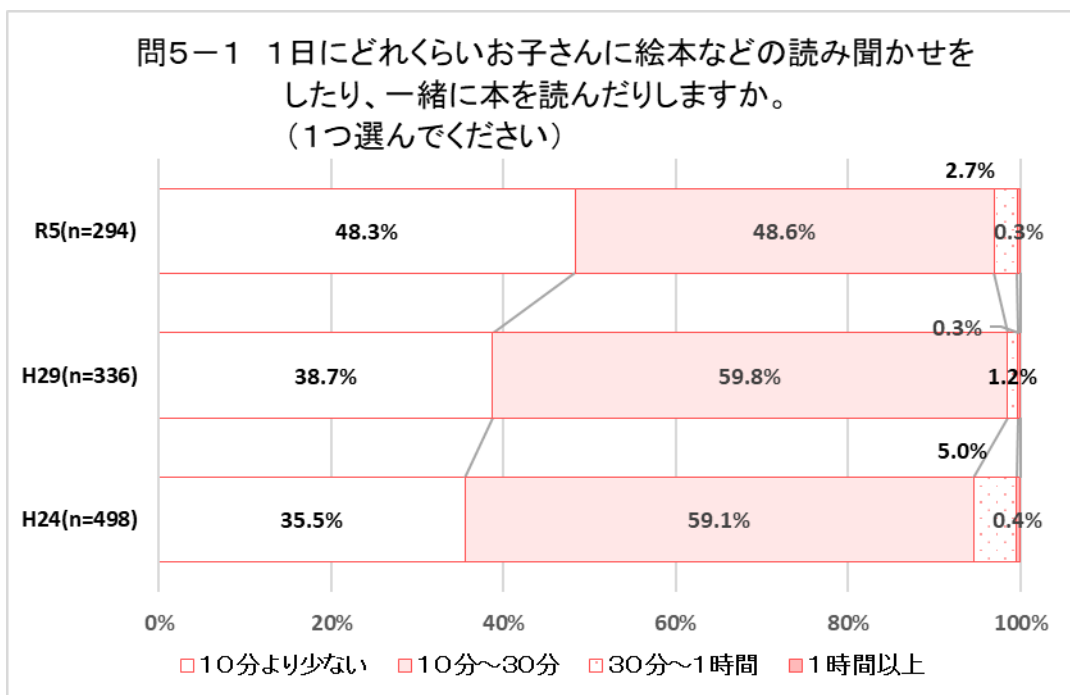
問5 問4で「読み聞かせをしたり、一緒に本を読んでいる」と答えた方にお聞きします。

(5-1) 1日にどれくらいお子さんに絵本などの読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしますか。(1つ選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「10分～30分」と回答した割合が約5割(48.6%)、「10分より少ない」が約5割(48.3%)となり、大半を占める。読み聞かせにかかる時間は1日に30分以内であることが分かる。

【図表】



※平成29年度調査までは、「1時間～2時間」、「2時間以上」という選択肢があるが、令和5年度調査では「1時間以上」としたため、平成29年度調査において「2時間以上」と回答した者は「1時間以上」に含む。

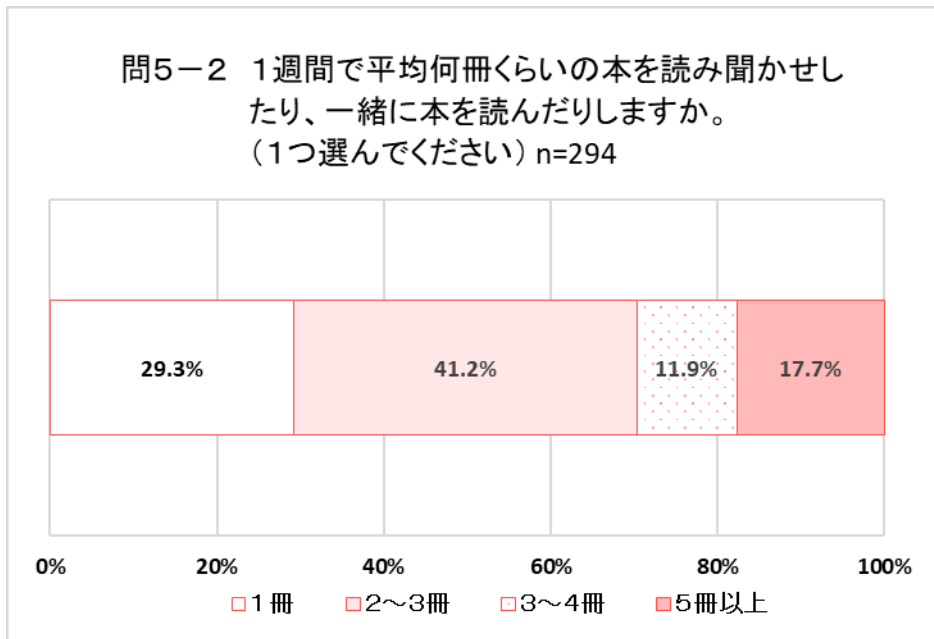
(5-2) 1週間で平均何冊くらいの本を読み聞かせしたり、一緒に本を読んだりしますか。

(1つ選んでください)

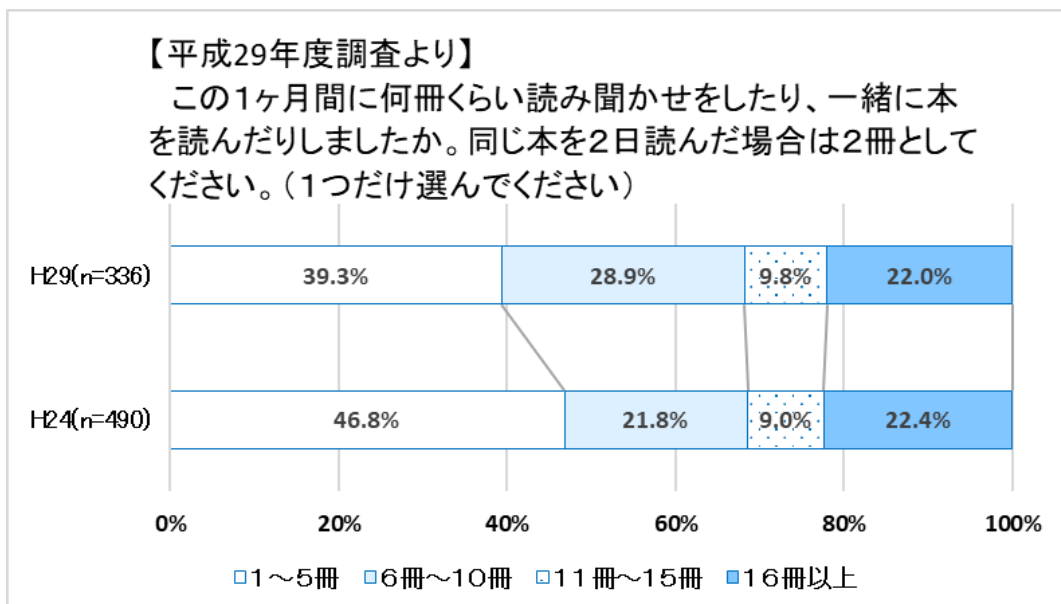
【集計結果の概要】

- 1週間に読む本の冊数は「2冊～3冊」と回答した割合が約4割(41.2%)で最も高く、次いで「1冊」が約3割(29.3%)、「5冊以上」が約2割(17.7%)の順となった。

【図表】



※参考



(5-3) あなたの家では、お子さんに読み聞かせをする絵本や一緒に読む本をどのように選んでいますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

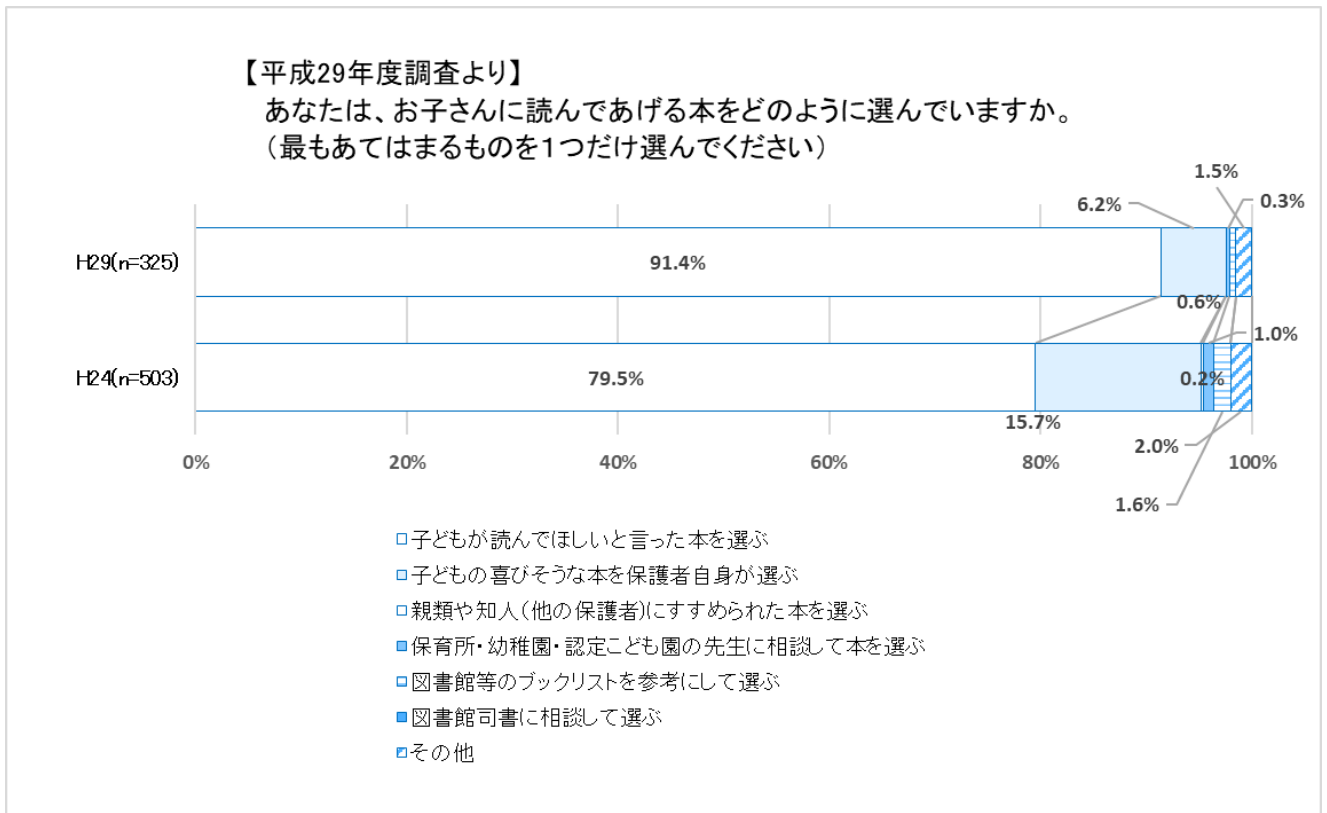
- ・「子どもが読んで欲しいといった本を選ぶ」と回答した割合が 97.6%と最も高く、次いで「子どもの喜びそうな本を保護者が選ぶ」が約4割(42.2%)となった。
- ・平成29年度調査でも「子どもが読んで欲しいといった本を選ぶ」が9割(91.4%)と高い。
- ・平成29年度調査、令和5年度調査でも、保育所、幼稚園、認定こども園や図書館等に相談し、本を選んでいる割合は非常に低い。

【図表】

令和5年度(n=294)

子どもが読んでほしいと言った本を選ぶ	子どもの喜びそうな本を保護者が選ぶ	親類や知人(他の保護者)にすすめられた本を選ぶ	保育所・幼稚園・認定こども園の先生に相談する	図書館等のブックリストを参考にする	図書館で相談する	書店で本を買う	SNS等で話題になった本を選ぶ	その他(自由記入)
97.6%	42.2%	4.4%	1.0%	6.8%	1.4%	19.7%	8.5%	3.7%

※参考



(5-4) あなたの家では、読む本はどのように準備していますか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

・「保育所・幼稚園・認定こども園で借りる」と回答した割合が約8割(77.6%)、「紙の本を買う」が約5割(53.7%)、「図書館で借りる」が約5割(47.3%)の順となった。

【図表】

令和5年度(n=294)

保育所・幼稚園・認定こども園で借りる	図書館で借りる	紙の本を買う	電子書籍を買う	親類や知人(他の保護者)に借りる	その他(自由記入)
77.6%	47.3%	53.7%	0.7%	2.7%	5.8%

(5-5) お子さんに絵本などの読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりするのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「子どもが喜ぶから」(71.8%)、「読書は子どもの成長に役立つと思うから」(70.4%)と回答した割合が約7割を占め、次いで「本が好きになってほしいから」(49.7%)の順となった。
- ・その他(自由記入)では、子どもとのコミュニケーションや親子でのふれあいの時間等、子どもとの時間を持つために、本を読む時間をつくっているとの回答もみられた。

【図表】

令和5年度 (n=294)

読書は子どもの成長に役立つと思うから	自分も小さい時に読み聞かせしてもらったから	本が好きになってほしいから	子どもの反応を見るのが楽しいから	自分も本を読むのが好きだから	子どもが喜ぶから	その他(自由記入)
70.4%	22.4%	49.7%	25.5%	23.5%	71.8%	4.4%

問6 問4で「0日」と答えた方にお聞きします。

お子さんに読み聞かせをしたり、一緒に本を読んだりしないのはなぜですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「仕事や家事で忙しいから」と回答した割合が約7割(67.7%)を占めており、次いで「子どもがテレビや動画を見る方が好きだから」と回答した割合が約4割(41.9%)、「子どもが本を読んでほしいと言わないから」が約4割(38.7%)となった。
- ・その他(自由記入)では、子どもが自分で本を読んでいる、子どもが読み聞かせに興味がない等の回答が見られ、保護者は子どもの普段の様子から、読み聞かせを望んでいないと判断していることがわかる。

【図表】

令和5年度 (n=31 ※標本数が50未満のため参考値として示す。)

仕事や家事で忙しいから	どの本を読んでもわからないから	保育所・幼稚園・子ども園で読み聞かせしてもらっているから	子どもが本を読んでもほしいと言わないから	自分(保護者自身)が本を読んでもらったことがないから	特に読み聞かせ等が必要だと思わないから	子どもがテレビや動画を見る方が好きだから	その他(自由記入)
67.7%	0.0%	12.9%	38.7%	6.5%	0.0%	41.9%	32.3%

問7【令和5年4月から令和6年1月現在までの状況をお答えください】

あなたは、どれくらい公立図書館（※）に行きますか。（あてはまるものを1つ選んでください）

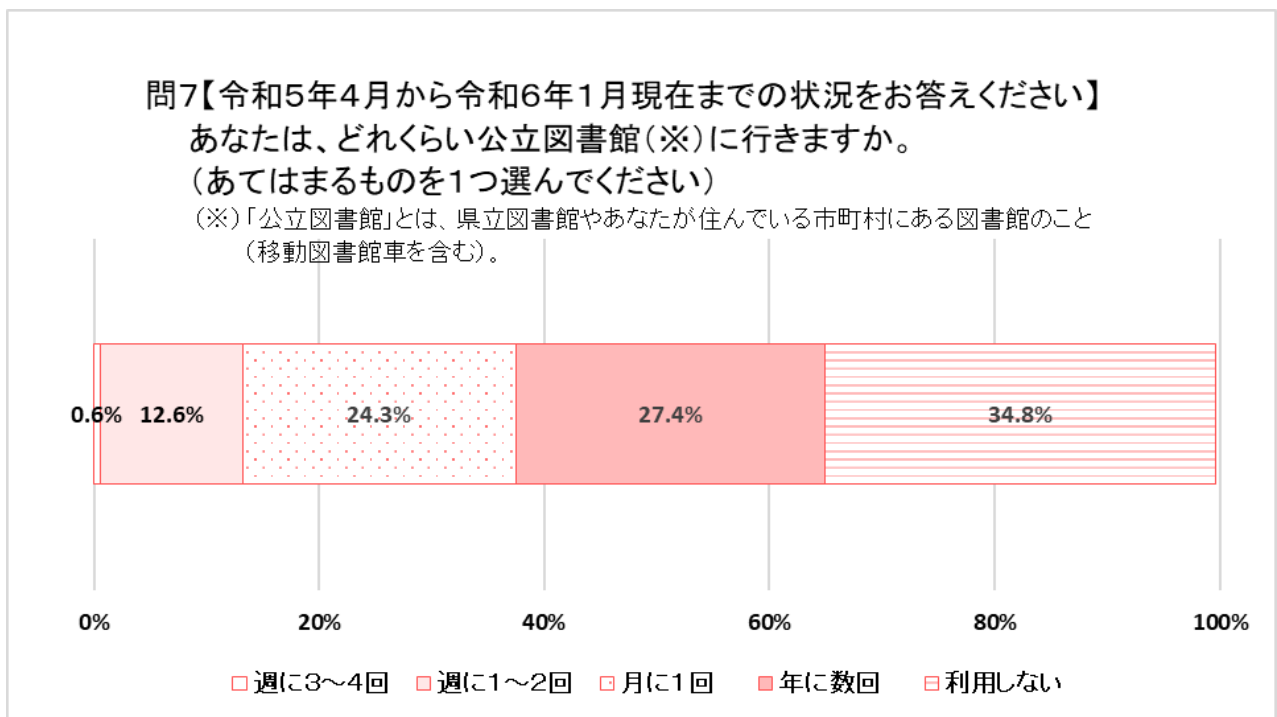
（※）「公立図書館」とは、県立図書館やあなたが住んでいる市町村にある図書館のこと（移動図書館車を含む）。

【集計結果の概要】

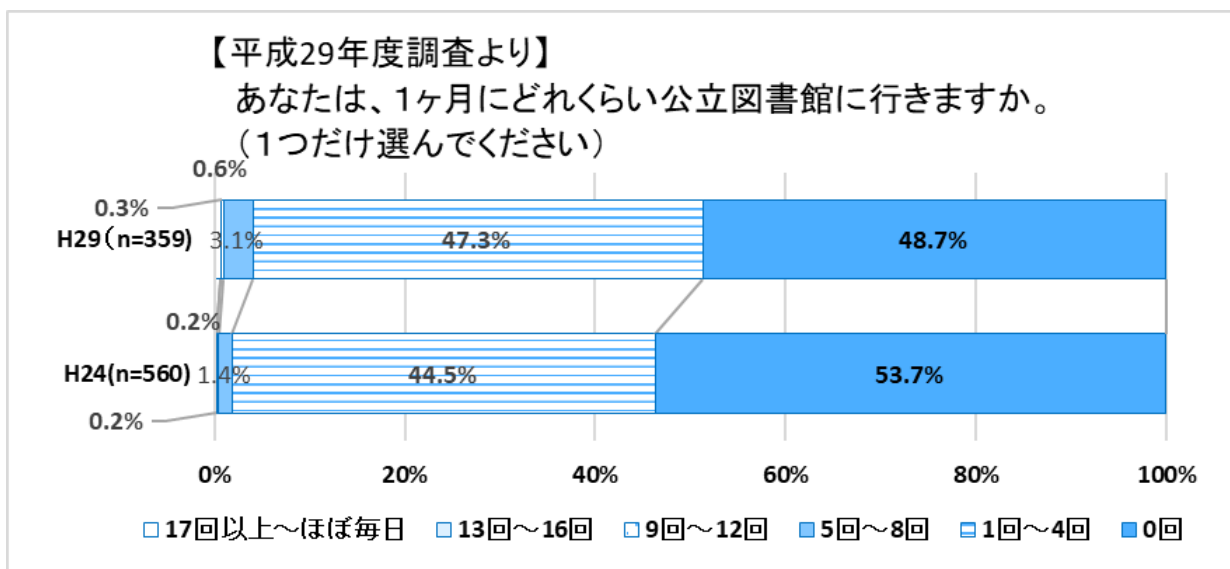
- ・「利用しない」と回答した割合が約3割（34.8%）で最も高く、次いで「年に数回」（27.4%）、「月に1回」（24.3%）となった。
- ・平成29年度調査では、「0回」と回答した割合が約5割（48.7%）と高く、令和5年度調査では「利用しない」は約4割（34.8%）となり、13.9ポイント減少した。

【図表】

令和5年度（n=325）



※参考



問8 問7で公立図書館に行くと言った方にお聞きします。公立図書館に行くのはどうしてですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「無料で本を借りられるから」と回答した割合が約9割(86.8%)、「一度にたくさん本を借りることができるから」が約6割(63.2%)と高くなった。
- ・「本のことを相談できる職員がいるから」(3.8%)や「おはなし会など子ども向けの行事があるから」(8.0%)と回答した割合は1割に満たない。

【図表】

令和5年度 (n=212)

図書館には読みたい本がある	本のことを相談できる職員がいるから	一度にたくさん本を借りることができるから	家から近いから	おはなし会など子ども向けの行事があるから	無料で本を借りられるから	その他(自由記入)
34.4%	3.8%	63.2%	22.6%	8.0%	86.8%	8.5%

問9 問7で「利用しない」と答えた方にお聞きします。公立図書館に行かないのはどうしてですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「幼稚園・保育所・認定こども園で本を借りられるから」と回答した割合が約6割(60.2%)、「借りたり返したりするのが面倒だから」が約5割(54.0%)と高くなった。
- ・「子どもが泣いたり、騒いだりするといけないから」と回答した割合が約2割(15.0%)を占め、その他(自由記入)では本を汚したり、破いてしまうことを心配する意見もあった。

【図表】

令和5年度 (n=113)

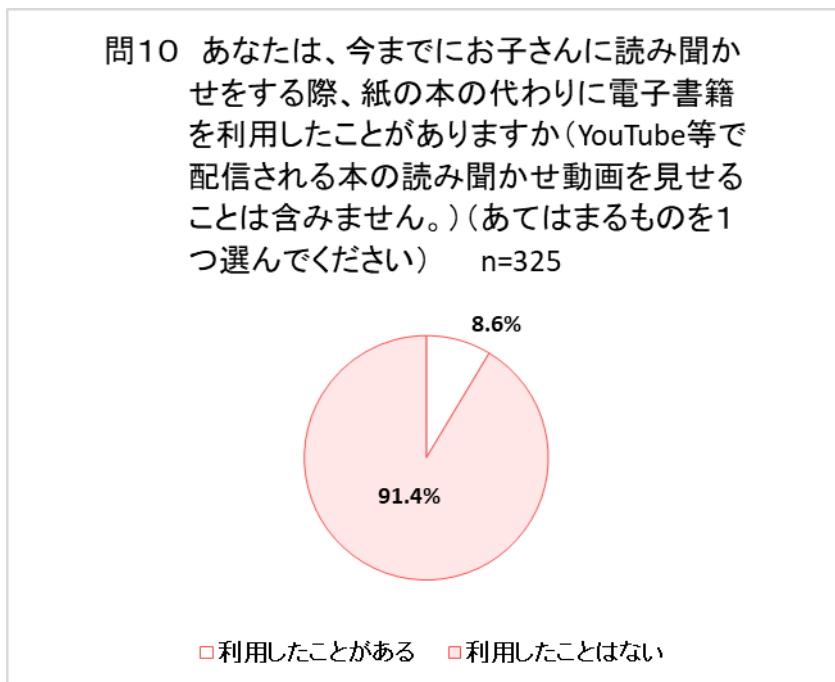
幼稚園・保育所・認定こども園で本を借りられるから	図書館の利用の仕方がわからないから	家から遠いから	図書館には読みたい本(読んであげたい本)がないから	借りたり返したりするのが面倒だから	本は買って読むから	本を読みたいと思わないから	子どもが泣いたり、騒いだりするといけないから	その他(自由記入)
60.2%	5.3%	28.3%	0.0%	54.0%	23.9%	5.3%	15.0%	7.1%

問10 あなたは、今までにお子さんに読み聞かせをする際、紙の本の代わりに電子書籍を利用したことがありますか(YouTube等で配信される本の読み聞かせ動画を見せることは含みません。)(あてはまるものを1つ選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「利用したことがない」と回答した割合は約9割(91.4%)と高い。
- ・平成29年度調査では、読み聞かせへの電子端末(タブレットやスマートフォンなど)を「利用しない」と回答した割合は約8割(83.8%)であり、令和5年度調査と比較しても読み聞かせにおける電子書籍の利用は進んでいない。

【図表】



※参考：【平成29年度調査(問14)より】

あなたは、お子さんに読み聞かせをする際に電子端末(タブレットやスマートフォンなど)を利用したことがありますか。

	よく利用している	何度か利用した	一度だけ利用した	利用したことはない	電子書籍を知らない	利用する機器を持っていない	無回答
H29(n=360)	1.7%	6.3%	2.8%	83.8%	1.1%	3.3%	1.0%

問11 問10で「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

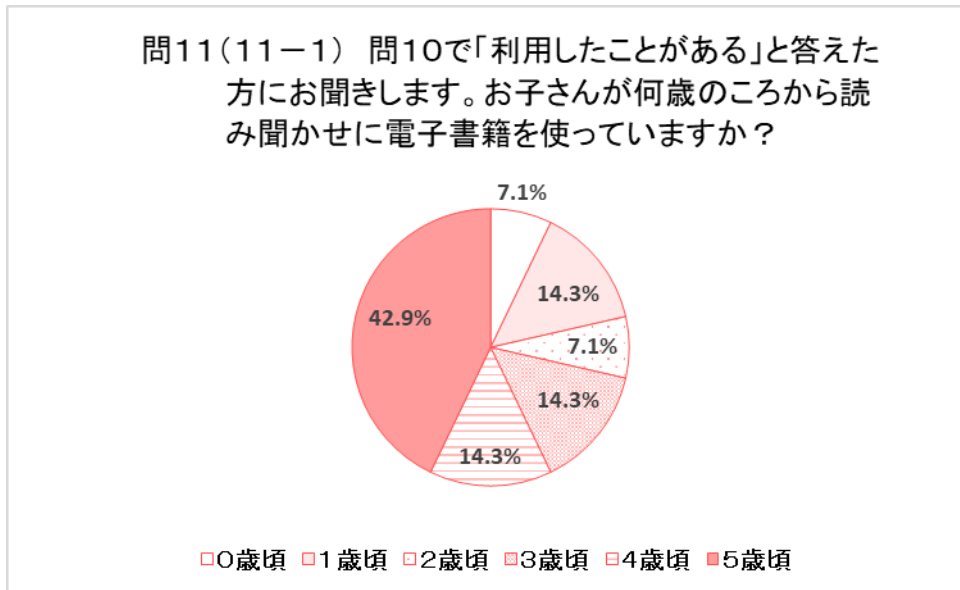
(11-1) お子さんが何歳のころから読み聞かせに電子書籍を使っていますか？

【集計結果の概要】

- ・「5歳頃」と回答した割合が約4割（42.9%）と最も高いが、0歳から利用しているとの回答も見られた。

【図表】

令和5年度（n=28（※標本数が50未満のため参考値として示す。））



(11-2) 問10で「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。

お子さんに読み聞かせをする際に電子書籍を使用するのはどうしてですか。

(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「本を借りたり返したりする手間がないから」と回答した割合が約3割(32.1%)、次いで「かさばらないから」(21.4%)、「子どもが喜ぶから」(21.4%)が約2割となった。
- ・便利であることの利点を感じているが、内容や本としての読みやすさについては「子どもに読ませたい内容だから」(14.3%)、「紙の本より読みやすいから」(3.6%)は約1割となった。

【図表】

令和5年度 (n=28 (※標本数が50未満のため参考値として示す。))

電子書籍を買っているから	子どもに読ませたい内容だから	本を借りたり返したりする手間がないから	紙の本より読みやすいから	かさばらないから	子どもが喜ぶから	子どもがおとなしくなるから	その他(自由記入)
7.1%	14.3%	32.1%	3.6%	21.4%	21.4%	7.1%	25.0%

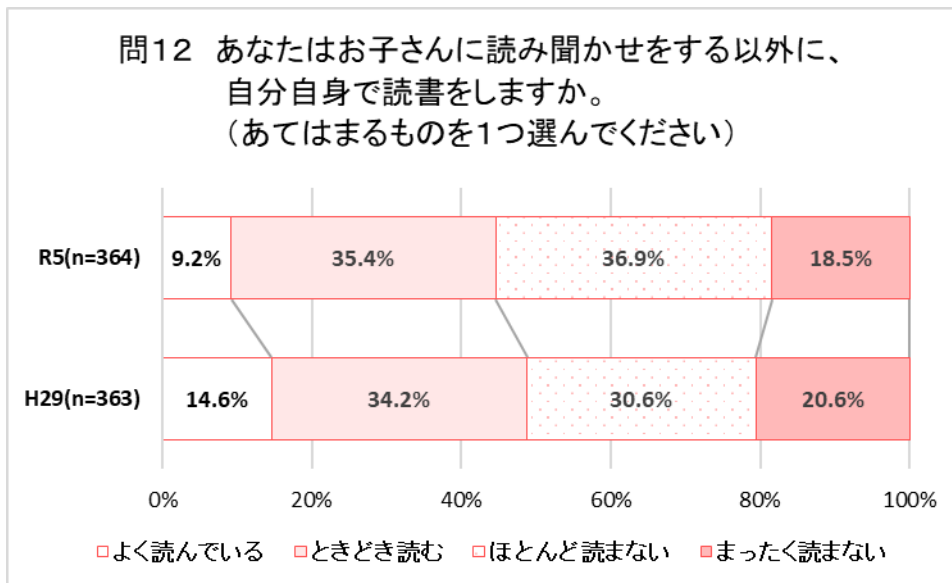
問12 あなたはお子さんに読み聞かせをする以外に、自分自身で読書をしますか。

(あてはまるものを1つ選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「ほとんど読まない」(36.9%)、「まったく読まない」(18.5%)と回答した割合を合わせると5割以上(55.4%)を占め、保護者が読書をしない家庭が過半数を超えている。
- ・平成29年度調査と比較すると「よく読む」と回答した割合が5.4ポイント減少した。(H29:14.6%→R5:9.2%)

【図表】



※H29のデータは平成29年度調査(問19)より

問13 子どもの読書について、ご意見やご要望があればご記入ください。

【集計結果の概要】

- ・読み聞かせをしたいけれど平日に時間をとることが難しいとの意見が複数あった。
- ・家庭以外（地域や図書館等）で読み聞かせ等の機会を求める声もあり、その中で保育所での読み聞かせの取組が保護者から評価されている。
- ・図書館の資料の充実を求める声もあった。

令和5年度 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（児童生徒対象）

1 調査対象

調査対象者	小学3年生・ 義務教育学 校3年生	小学6年生・ 義務教育学 校6年生	中学3年生・ 義務教育学 校9年生	高校2年生	合計
調査対象者数（人）	451	447	506	508	1,912
有効回答数（人）	394	439	399	451	1,683

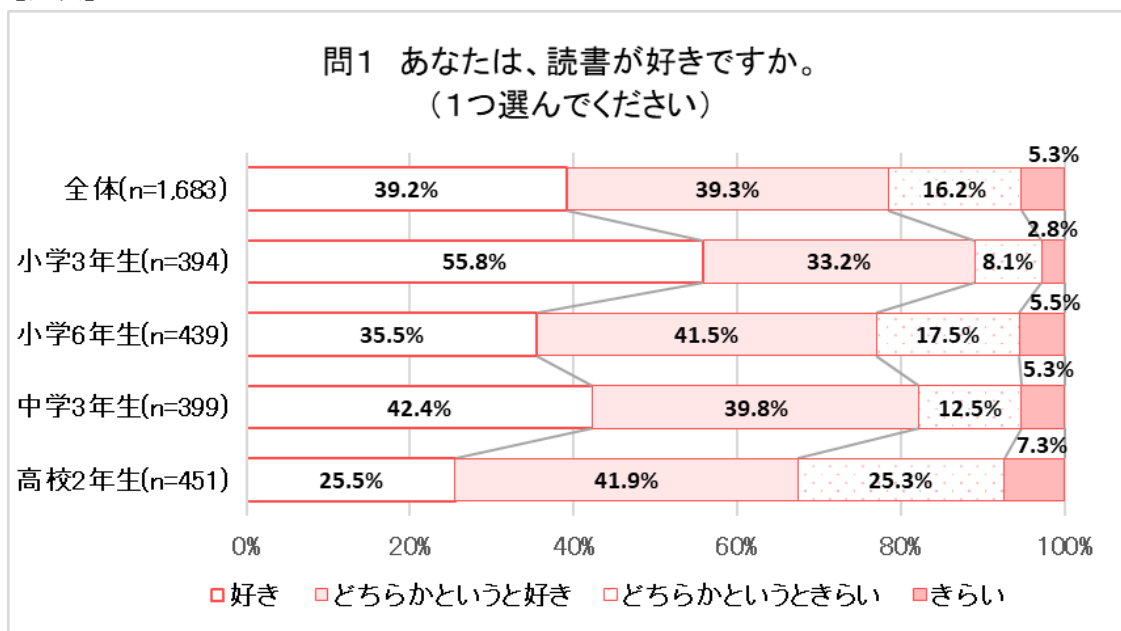
2 調査結果

問1 あなたは、読書が好きですか。（1つ選んでください）

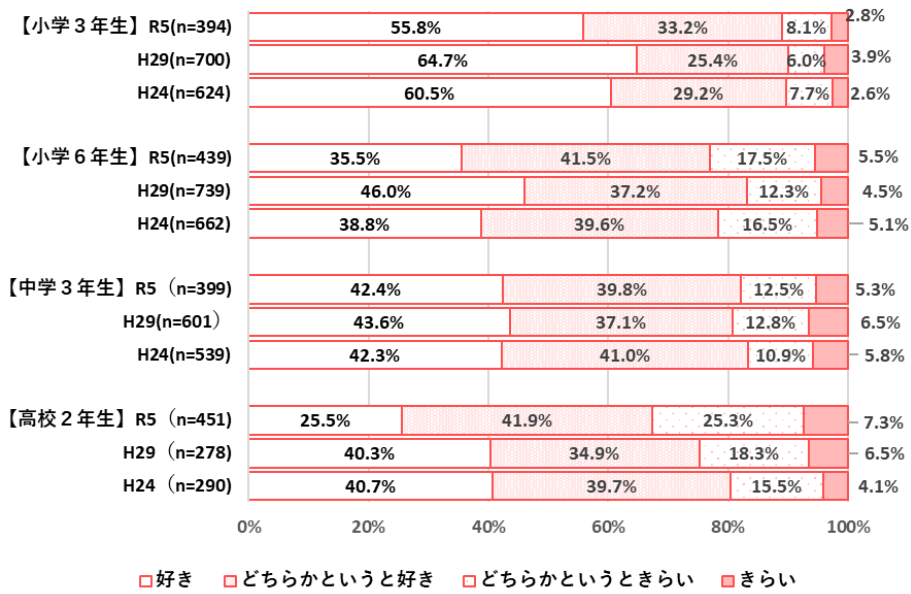
【集計結果の概要】

- ・読書を「好き」「どちらかという好き」と回答した割合は、次のとおりとなっている。
 - ・小学3年生で約9割（89.0%）となり、平成29年度調査との大きな差はみられない。
 - ・小学6年生は約8割（77.0%）となり、平成29年度調査より6.2ポイント減少した。
 - ・中学生は約8割（82.2%）となり、平成29年度調査と大きな差はみられない。
 - ・高校生は約7割（67.4%）となり、平成29年度調査を7.8ポイント減少した。

【図表】



【H24～R5調査結果】



<参考>令和5年度全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問紙調査結果より抜粋）

「読書は好きですか」という設問に対する肯定的な回答の割合

	鳥取県	全国	差 (%)
小学6年生	70.8%	71.8%	△1.0
中学3年生	67.9%	66.0%	1.9

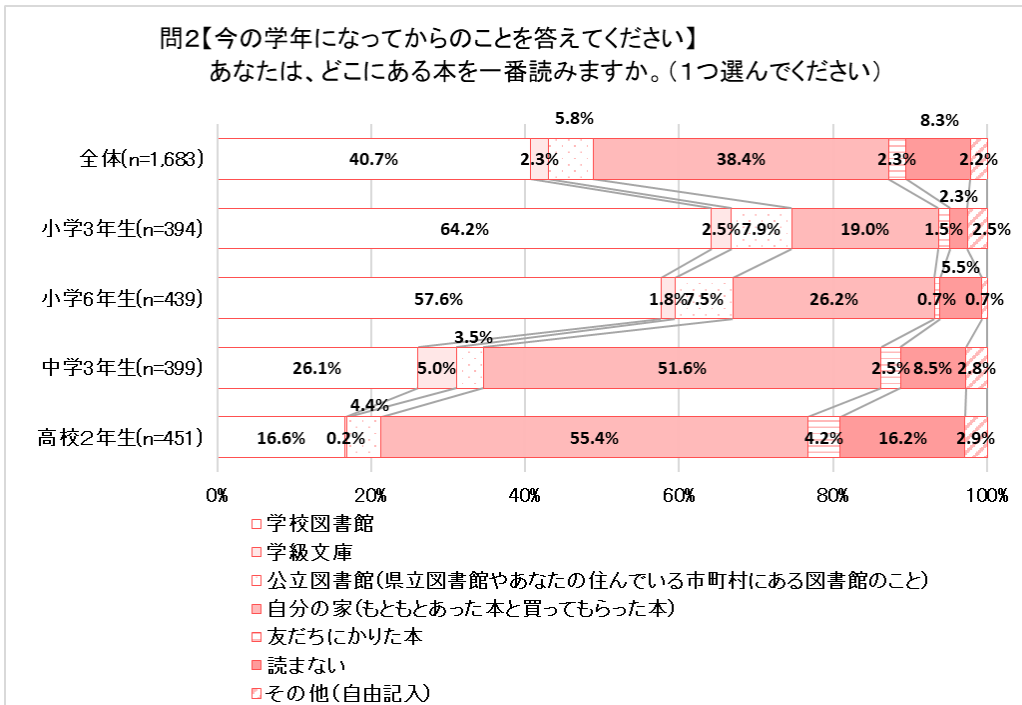
問2 今の学年になってからのことを教えてください。

あなたは、どこにある本を一番読みますか。(1つ選んでください)

【集計結果の概要】

- ・「学校図書館」と回答した割合は小学生が約6割と高くなった。(小学3年生：64.2%、小学6年生：57.6%)
- ・中学生、高校生は小学生に比べて「学校図書館」を利用する割合が減り、「自分の家にある本」が5割と高くなった。中学生、高校生では、本は購入するなどして読む傾向がみられる。
- ・「読まない」と回答した割合は、小学3年生が2.3%と最も低く、高校生では16.2%となり、学年が上がるにしたがって高くなった。

【図表】



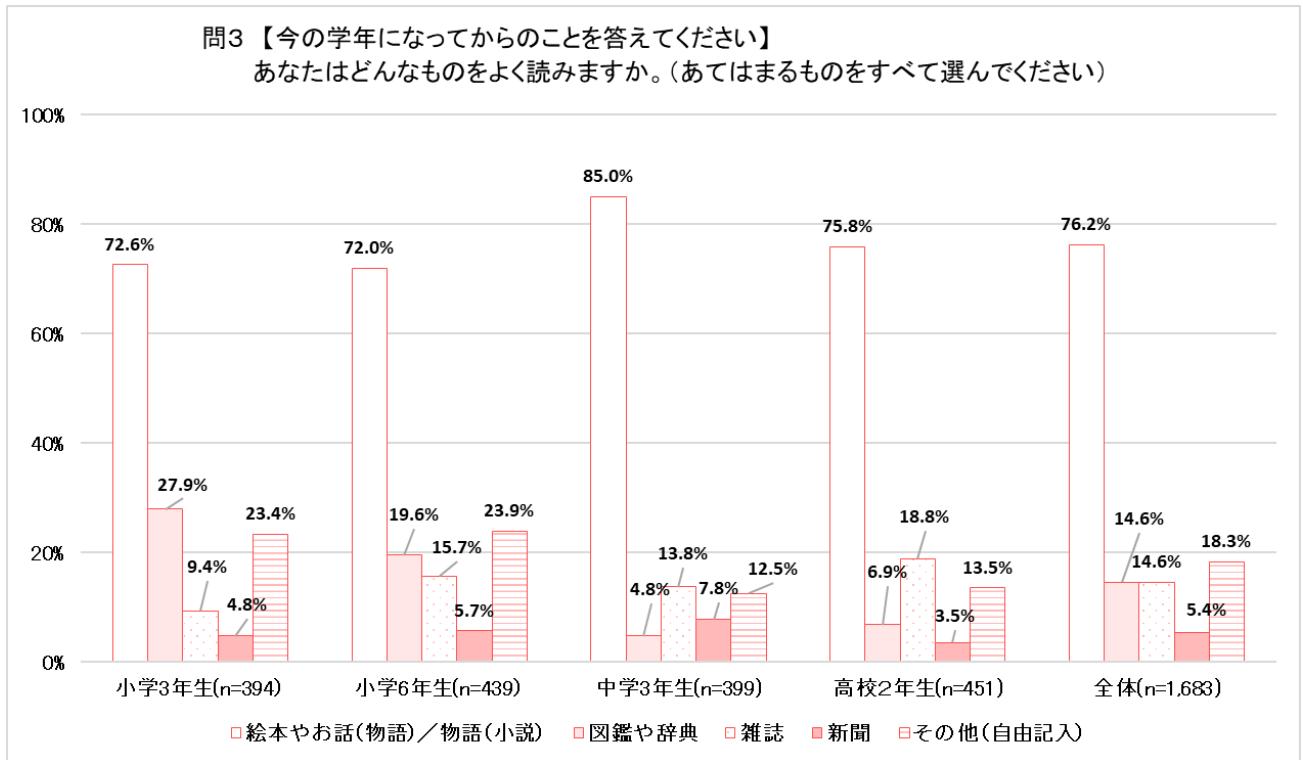
問3 今の学年になってからのことを教えてください。

あなたはどんなものをよく読みますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- すべての調査対象で「絵本やお話（物語）／物語（小説）」が最も高い。

【図表】



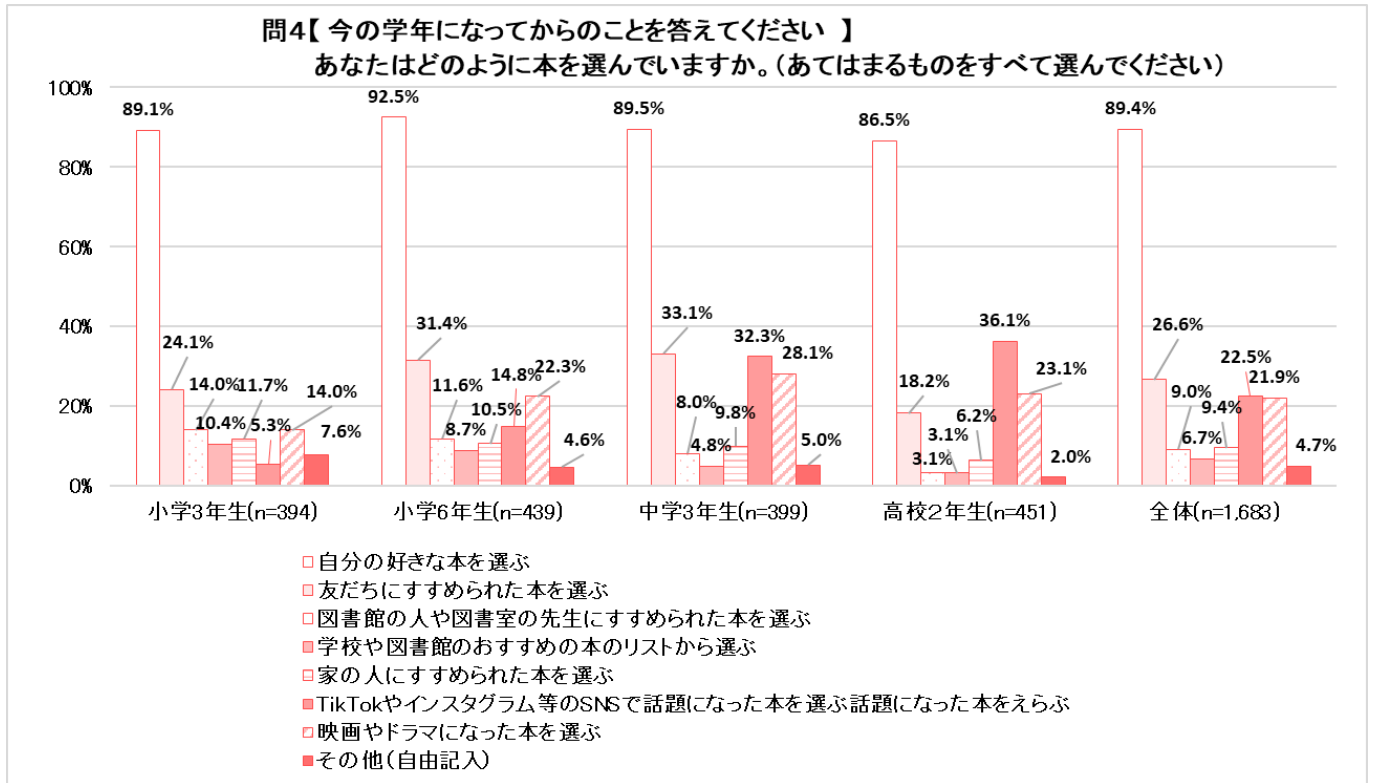
問4 今の学年になってからのことを教えてください。

あなたは、どのように本を選んでいきますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【集計結果の概要】

- ・すべての調査対象において「自分の好きな本を選ぶ」と回答した割合が約9割と最も高い。
- ・中学生・高校生では、学校や図書館から勧められた本を選ぶ傾向は低くなり、小学生に比べると、映画やドラマになった本やTikTokやインスタグラム等のSNSで話題になった本を選ぶ傾向が高い。

【図表】



問5 今の学年になってからのことを教えてください。

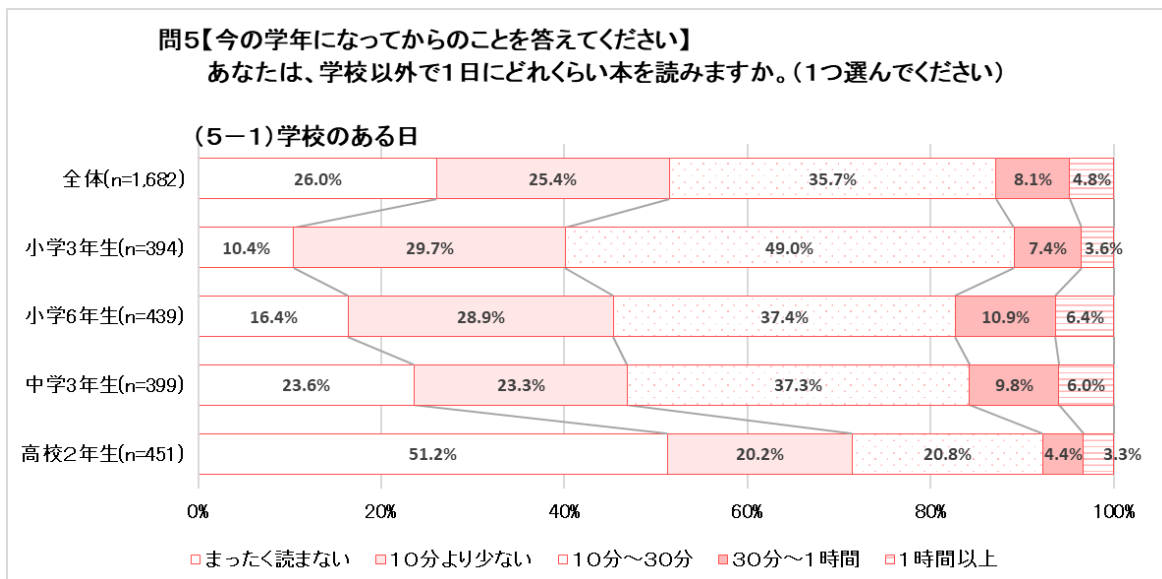
あなたは、学校以外で1日にどれくらい本を読みますか。(1つ選んでください)

【集計結果の概要】

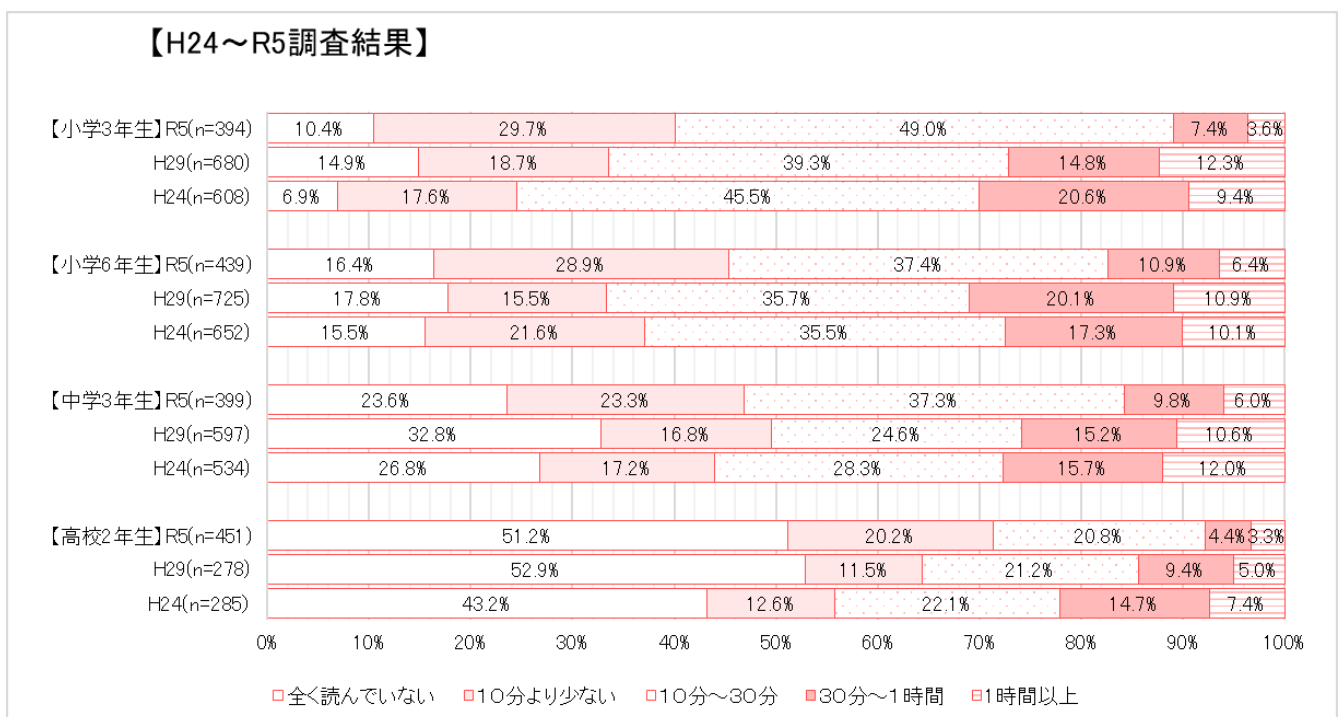
- ・学校のある日(図表(5-1))は、小学生・中学生は「10分~30分」が最も高く(小学3年生:49.0%、小学6年生:37.4%、中学3年生:37.3%)、高校生は「まったく読まない」が約5割(51.2%)と最も高くなった。
- ・学校のない日(休みの日)(図表(5-2))では、すべての調査対象で「まったく本を読まない」割合が高くなった。
高校生では、学校のない日(休みの日)には約6割(58.5%)が本を読んでいない。
- ・学校のある日と学校のない日(休みの日)を比較すると、学校のない日(休みの日)では、「まったく読まない」と回答した割合が高くなった一方で、「1時間以上」と回答した割合も高くなった。

【図表】

(5-1) 学校のある日

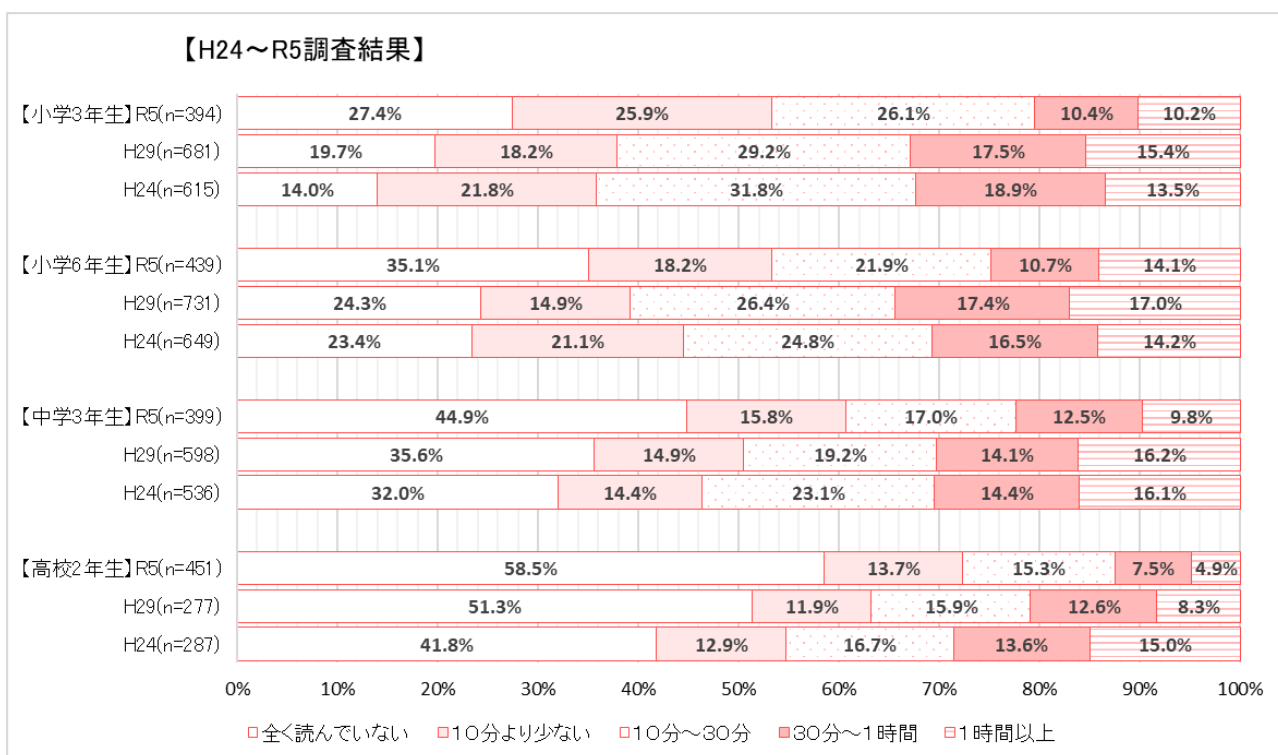
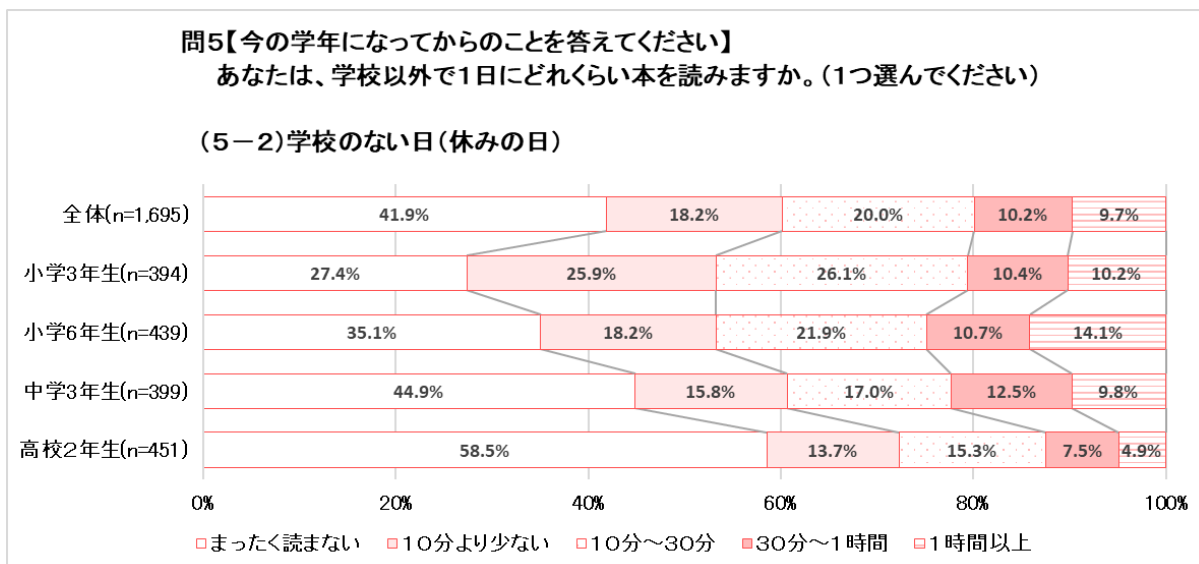


【H24~R5調査結果】



※H24 と H29 のデータは、平成 29 年度調査より

(5-2) 学校のない日(休みの日)



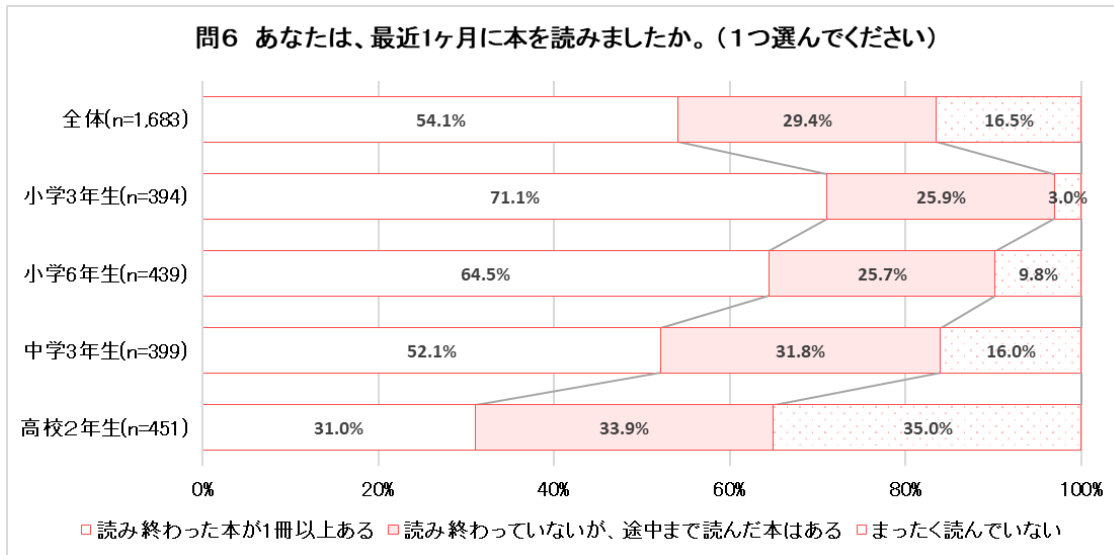
※H24 と H29 のデータは、平成 29 年度調査より

問6 あなたは、最近1ヶ月に本を読みましたか。(1つ選んでください)

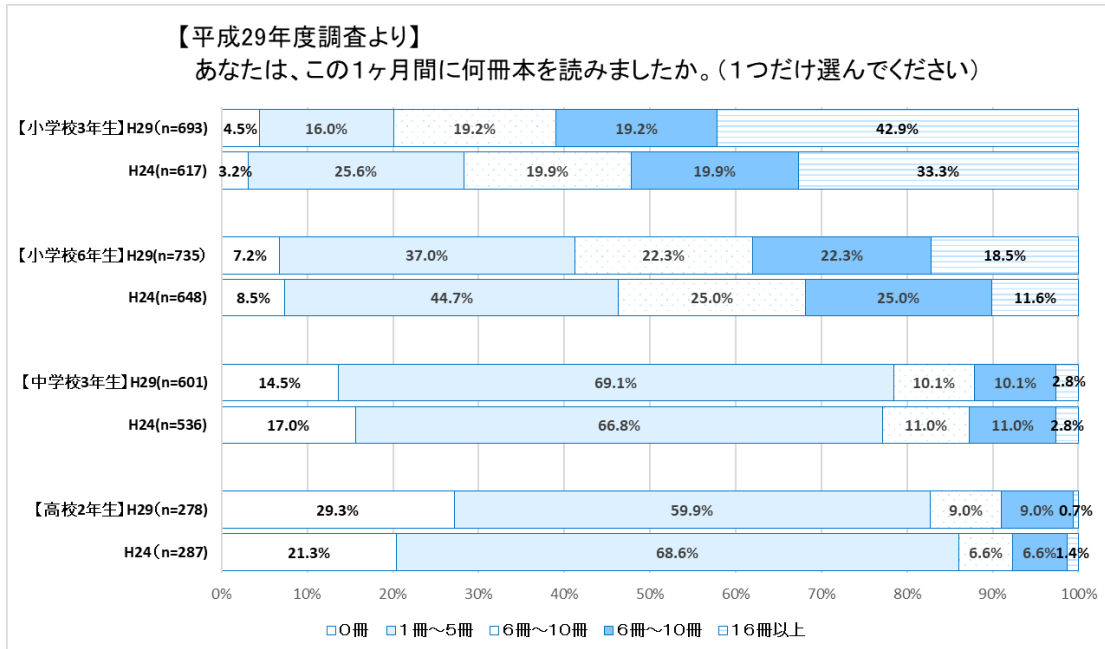
【集計結果の概要】

- ・「読み終わった本が1冊以上ある」、「途中まで読んだ本がある」と回答した割合を合わせると、小学生では9割を超えており、平成29年度調査の1冊以上読んだ割合と大きな変化は見られない。
- ・「まったく読んでいない」と回答した割合は、高校生では約4割(35.0%)となり、平成29年度調査の29.3%より5.7ポイント増加した。
- ・中学生・高校生は小学生に比べ不読率は高い傾向にある。

【図表】



※参考



○第68回学校読書調査報告(全国学校図書館協議会)より

「あなたは5月1か月の間に、本を何冊ぐらい読みましたか」の設問に対して「0冊」と回答した割合

	2023年	2022年	2021年
小学生(4年生~6年生)	7.0%	6.4%	5.5%
中学生	13.1%	18.6%	10.1%
高校生	43.5%	51.1%	49.8%

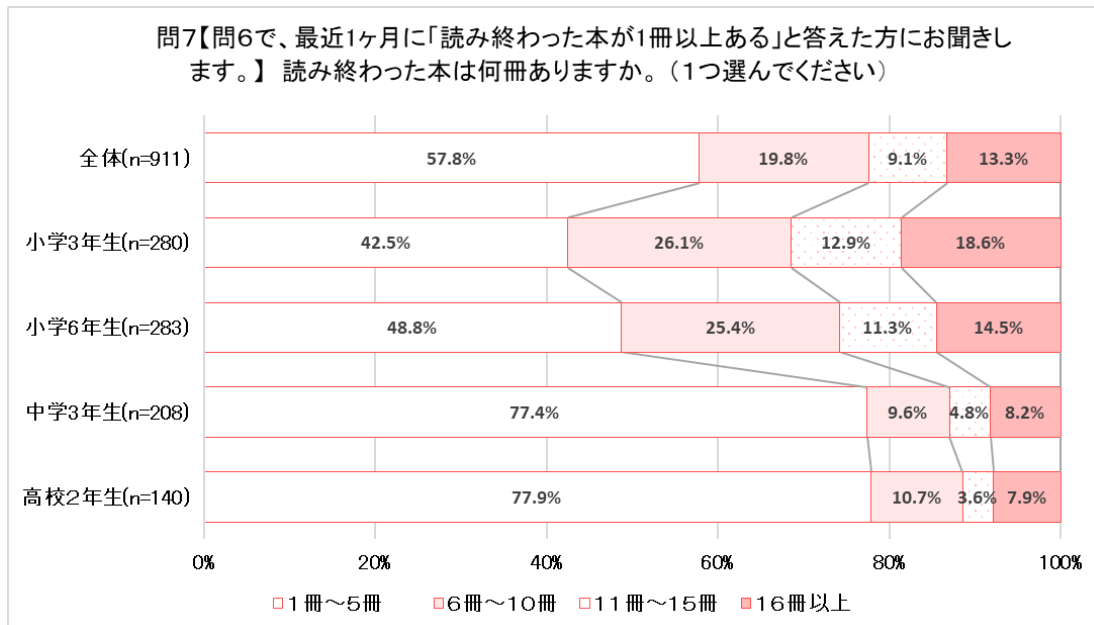
問7【問6で、最近1ヶ月に「読み終わった本が1冊以上ある」と答えた方にお聞きします。】

読み終わった本は何冊ありますか。(1つ選んでください)

【集計結果の概要】

- すべての調査対象において、「1～5冊」と回答した割合がもっとも高い。
回答が高い項目は次のとおりとなっている。
- 小学3年生：「1～5冊」(42.5%)、「6～10冊」(26.1%)
- 小学6年生：「1～5冊」(48.8%)、「6～10冊」(25.4%)
- 中学3年生：「1～5冊」(77.4%)
- 高校2年生：「1～5冊」(77.9%)

【図表】



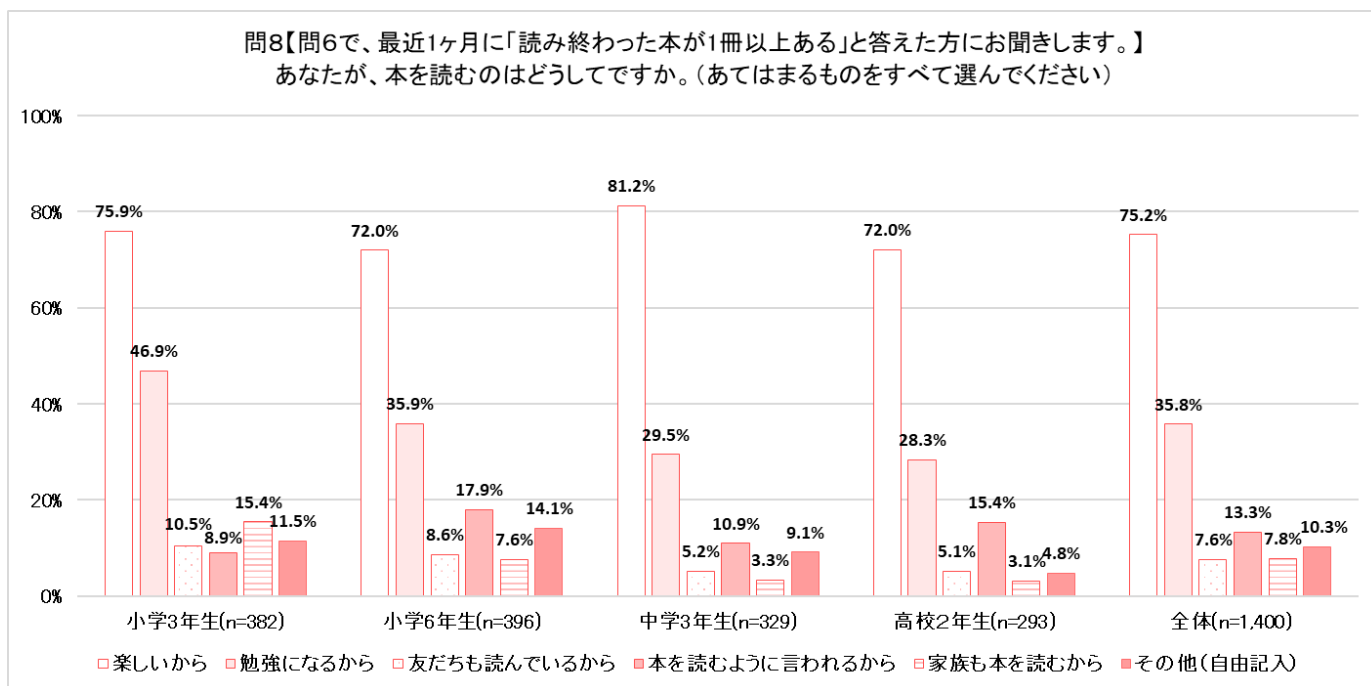
問8【問6で、最近1ヶ月に「読み終わった本が1冊以上ある」、「読み終わっていないが、途中で
 読んだ本はある」と答えた方にお聞きます。】

あなたが、本を読むのはどうしてですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・すべての調査対象において「楽しいから」と回答した割合が最も高く、次いで「勉強になるから」の順となった。
- ・小学3年生は「家族も本を読むから」と回答した割合が約2割（15.4%）あり、他の調査対象と比べると高くなった。
- ・すべての調査対象において、約1～2割は「本を読むように言われるから」と回答した。

【図表】



問9【問6で「まったく読んでいない」と答えた方にお聞きします。】

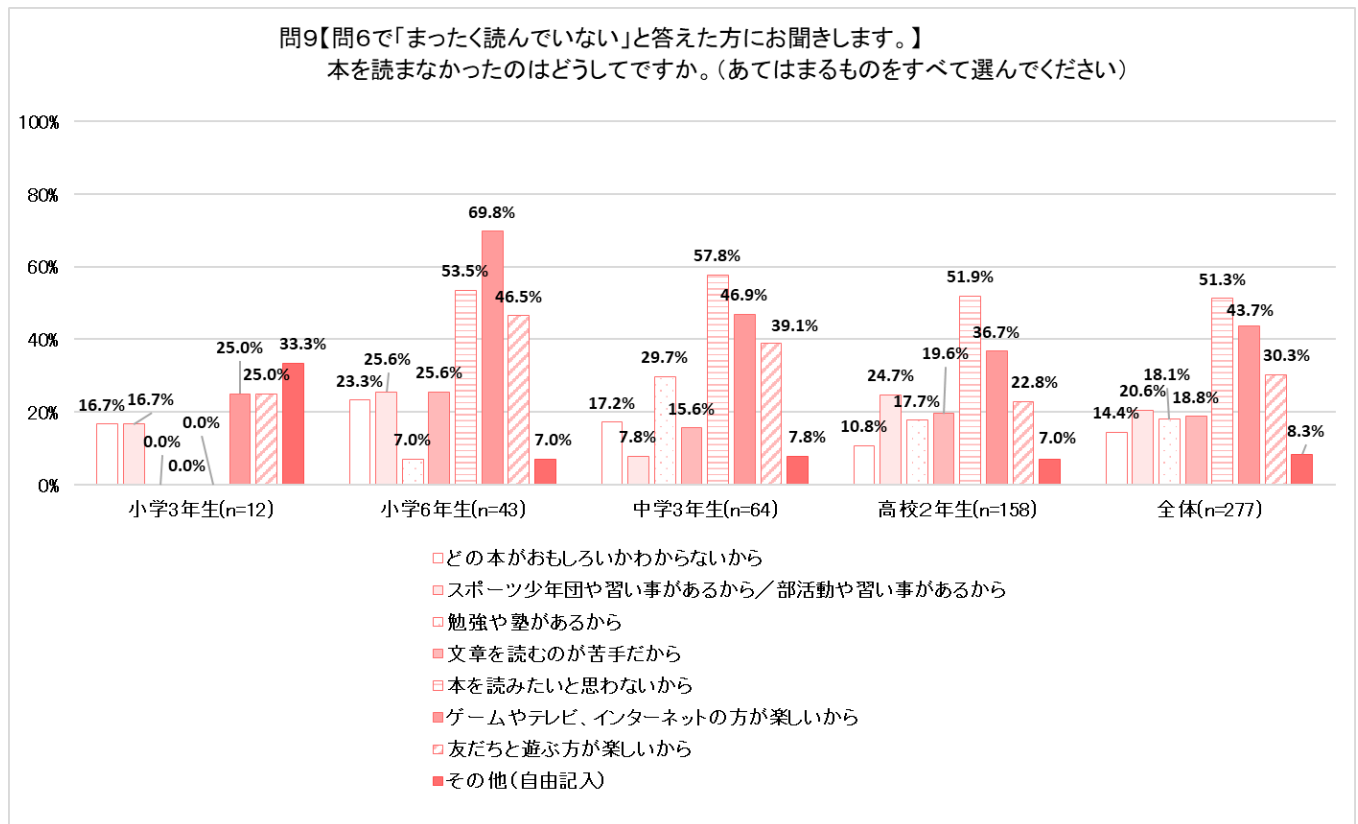
本を読まなかったのはどうしてですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・「ゲームやテレビ、インターネットの方が楽しいから」と回答した割合は、小学6年生で約7割(69.8%)、中学生で約5割(46.9%)と高い割合となった。
- ・「本を読みたいと思わないから」と回答した割合は、小学6年生(53.5%)、中学生(57.8%)、高校生(51.9%)で5割を超えた。
- ・読書をしない理由として、塾や部活動などによる読書時間の確保が困難な状況を押さえて、「本を読みたくない」が全体では約5割(51.3%)と最も高い。

【図表】

※小学3年生、小学6年生は回答数が50未満のため参考値として示す。



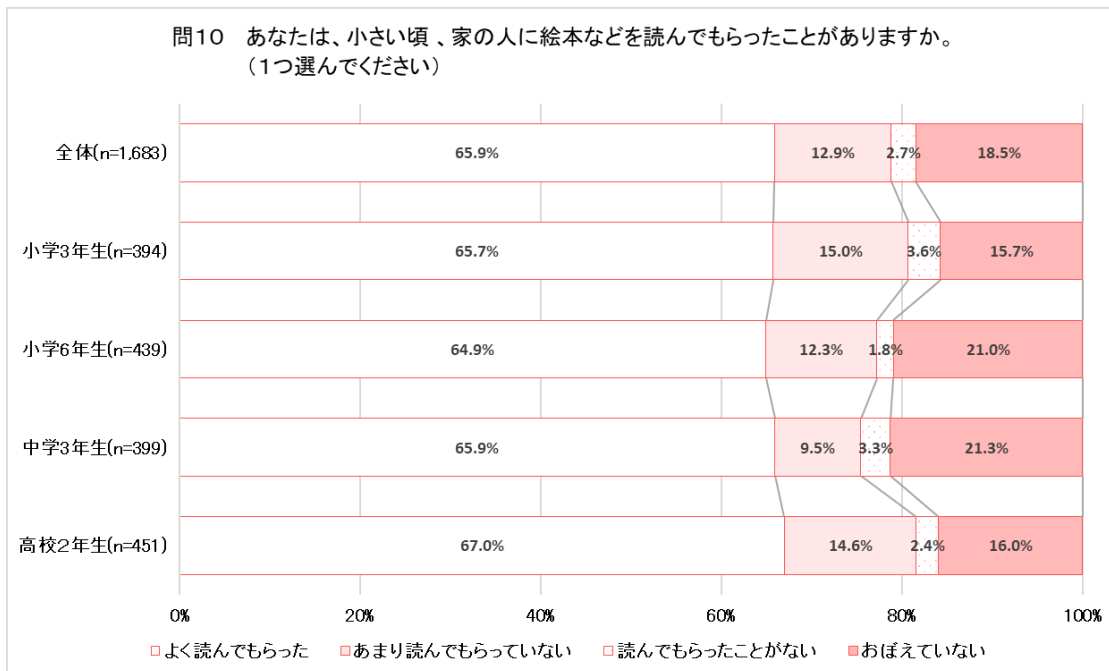
問10 あなたは、小さい頃、家の人に絵本などを読んでもらったことがありますか。

(1つ選んでください)

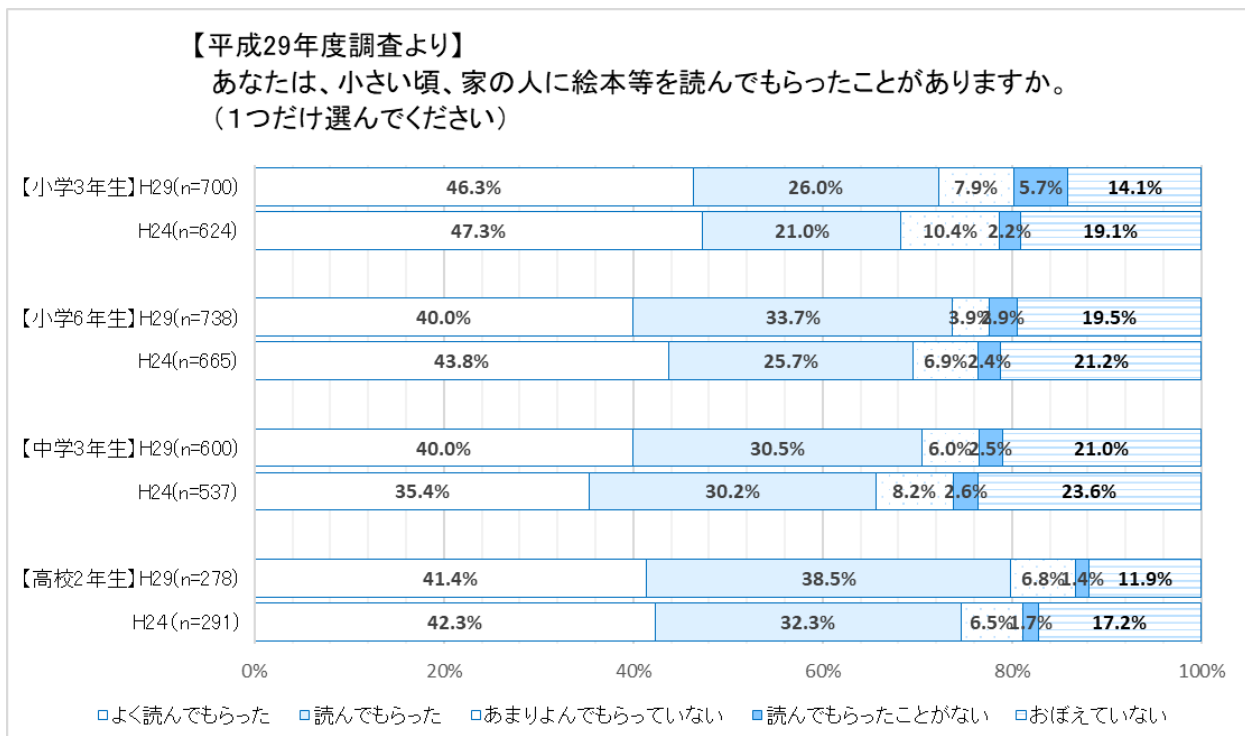
【調査結果の概要】

- 全体の結果では、「よく読んでもらった」と回答した割合は、約7割（65.9%）となり、「あまり読んでもらっていない」、「読んでもらったことがない」と回答した割合を合わせると約2割（15.6%）となった。
- 調査対象ごとでは、「よく読んでもらった」と回答した割合は、学年による大きな差はみられず、幼少期に子どもたちの6割以上は絵本を読んでもらう環境にあったことが分かる。
- 平成29年度調査では、すべての調査対象で「よく読んでもらった」、「読んでもらった」と回答した割合は約7～8割であり、令和5年度調査との大きな差はみられない。

【図表】



※参考



(中学3年生・義務教育学校9年生・高校2年生のみ回答)

問11 あなたは、小学生や中学生の時期にどれくらい本を読んだと思いますか。

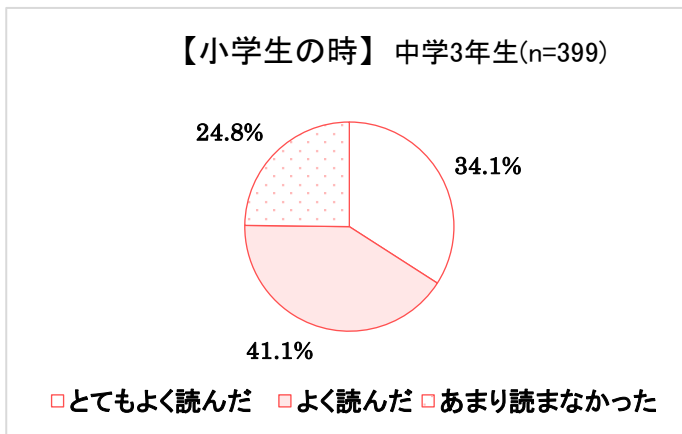
(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

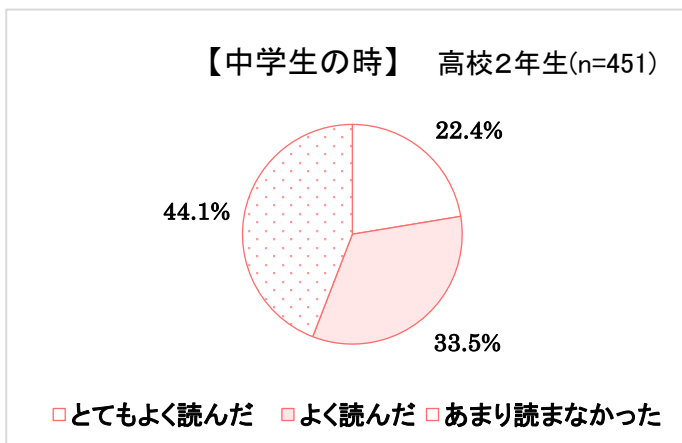
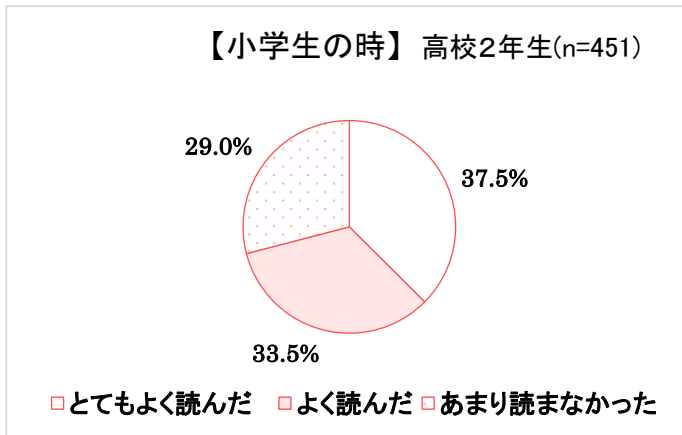
- ・小学生の時に「とてもよく読んだ」、「よく読んだ」と回答した割合を合わせると、中学生では約8割(75.2%)、高校生では約7割(71.0%)となった。
- ・小学生の時に「とてもよく読んだ」と回答した高校生の割合は37.5%であるが、中学生の時に「とてもよく読んだ」と回答した高校生の割合は22.4%に下がり、学年が上がるにつれて読書をする機会が減ることがわかる。

【図表】

○中学生回答



○高校生回答



問12【今の学年になってからのことを教えてください】

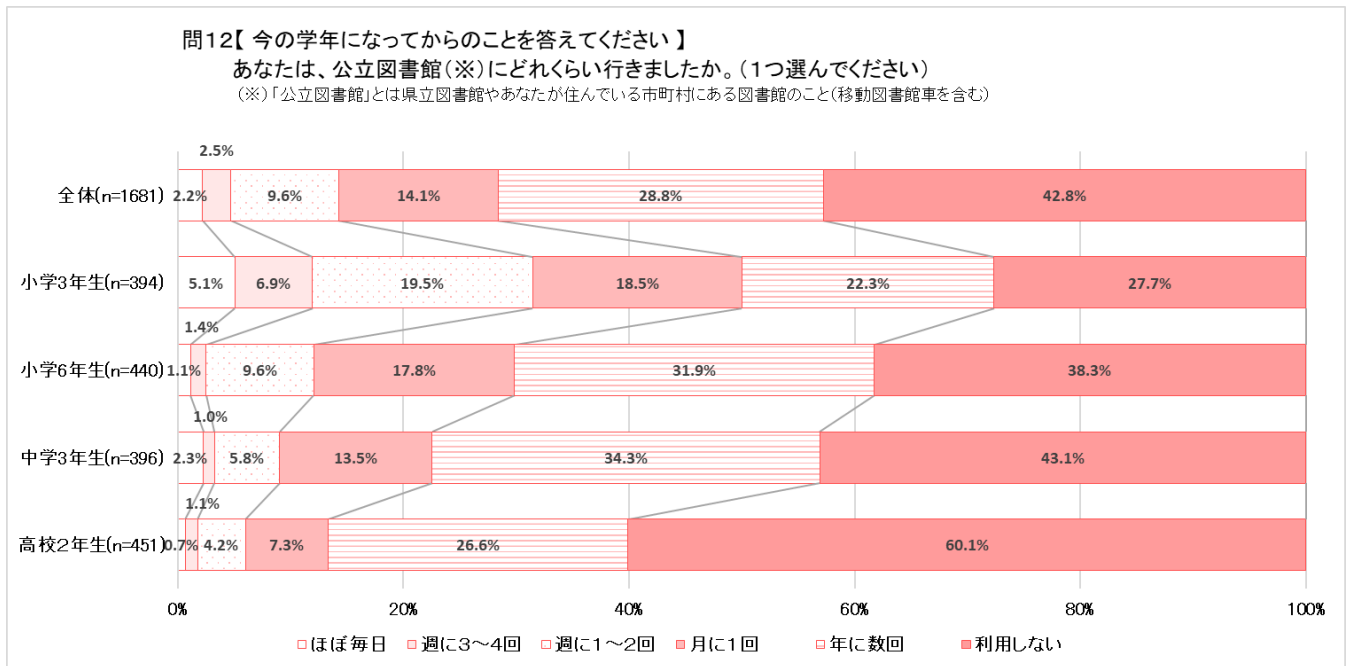
あなたは、公立図書館（※）にどれくらい行きますか。（1つ選んでください）

（※）「公立図書館」とは県立図書館やあなたが住んでいる市町村にある図書館のこと（移動図書館車を含む）

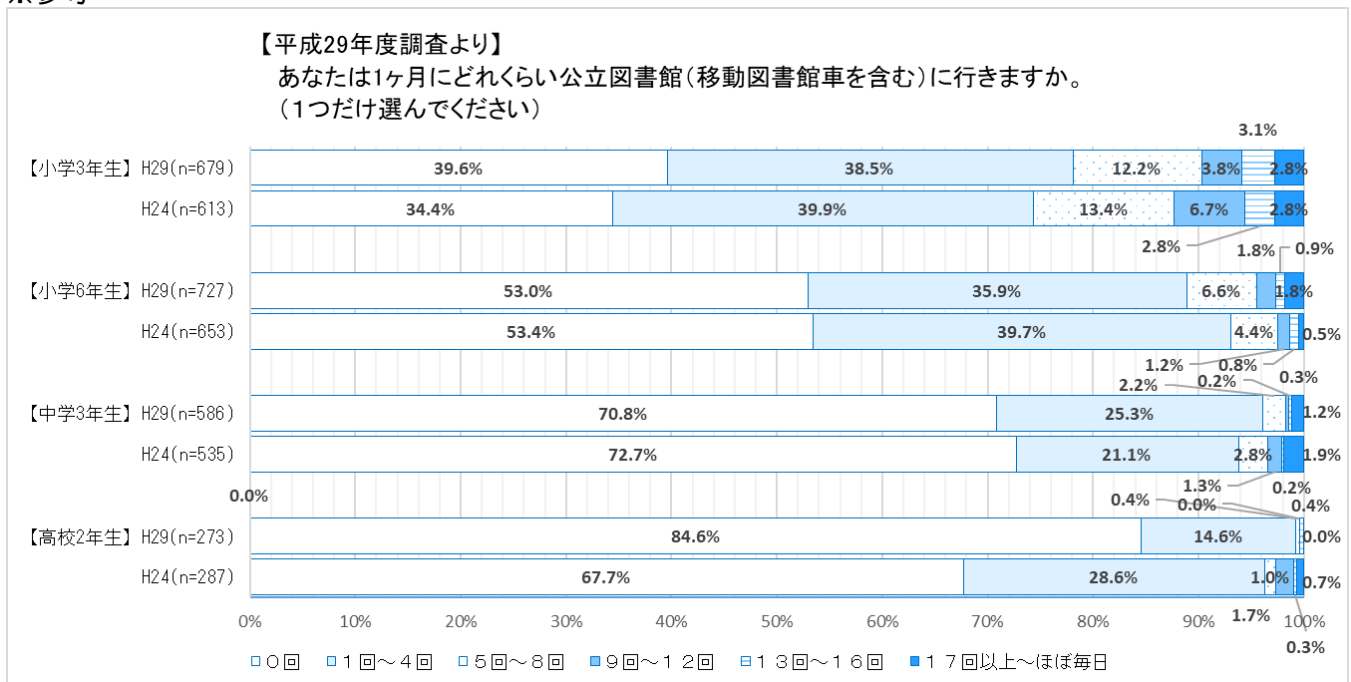
【調査結果の概要】

- ・月に1回以上利用する割合は、小学3年生では5割（50.0%）、小学6年生では約3割（29.9%）、中学生で約2割（22.6%）、高校生では約1割（13.3%）となり、学年が上がるにしたがって公立図書館の利用頻度が減る傾向がみられる。
- ・高校生は、約6割（60.1%）が公立図書館を利用しないと回答している。
- ・平成29年度調査と比較すると、すべての調査対象で「利用しない」と回答した割合は減少した。

【図表】



※参考

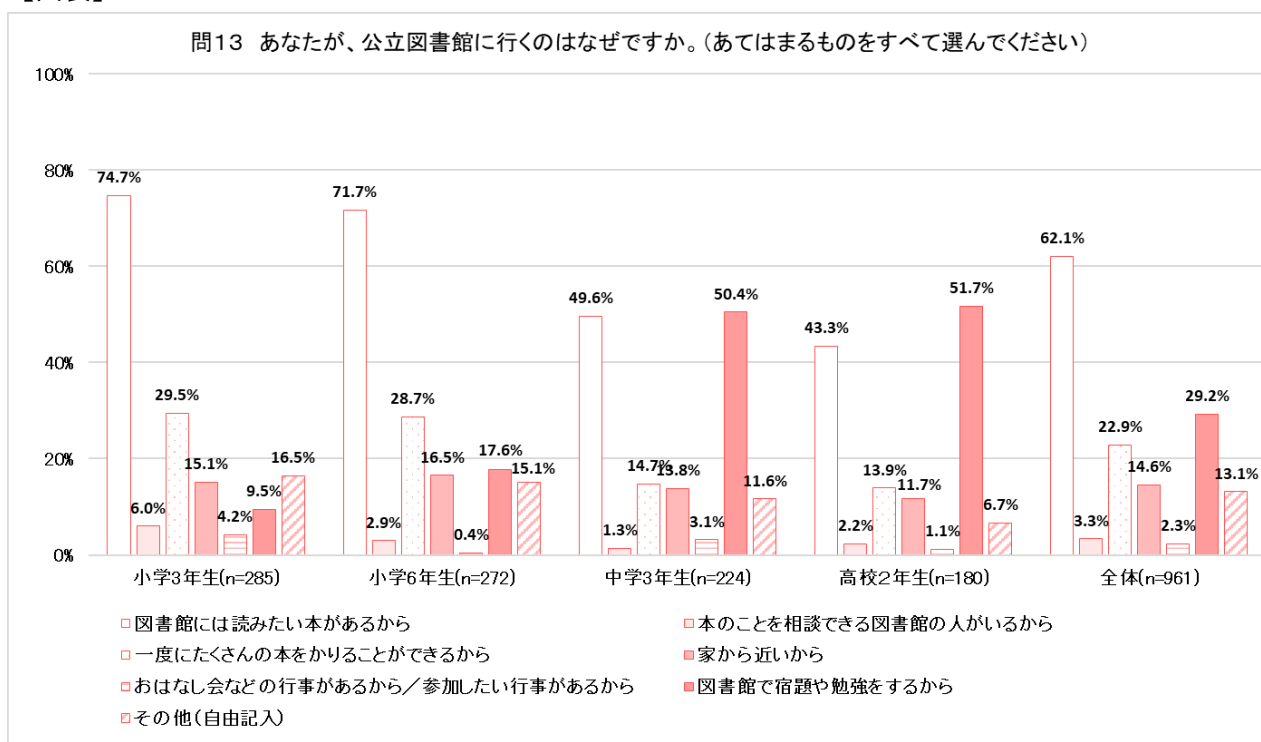


問13 あなたが、公立図書館に行くのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・中学生・高校生が公立図書館に行く理由として、「図書館で宿題や勉強をするから」と回答した割合が約5割を超えている。(中学3年生：50.4% 高校2年生：51.7%)
小学生は「図書館には読みたい本があるから」と回答した割合が7割と最も高く(小学3年生：74.7% 小学6年生：71.7%)、学年が上がるにしたがい、公立図書館を利用する理由に変化が見られる。
- ・すべての調査対象において、本のことを図書館員に相談したり、図書館で開催される行事に参加すると回答した割合は低くなった。

【図表】



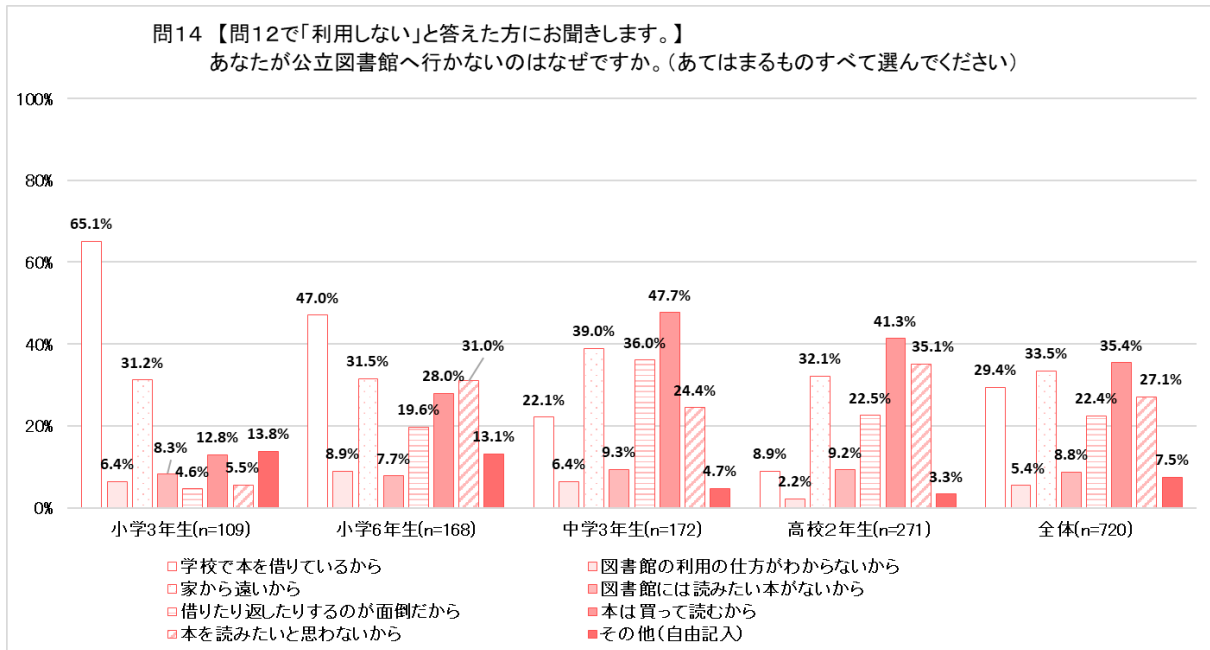
問14 【問12で「利用しない」と答えた方にお聞きします。】

あなたが公立図書館へ行かないのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

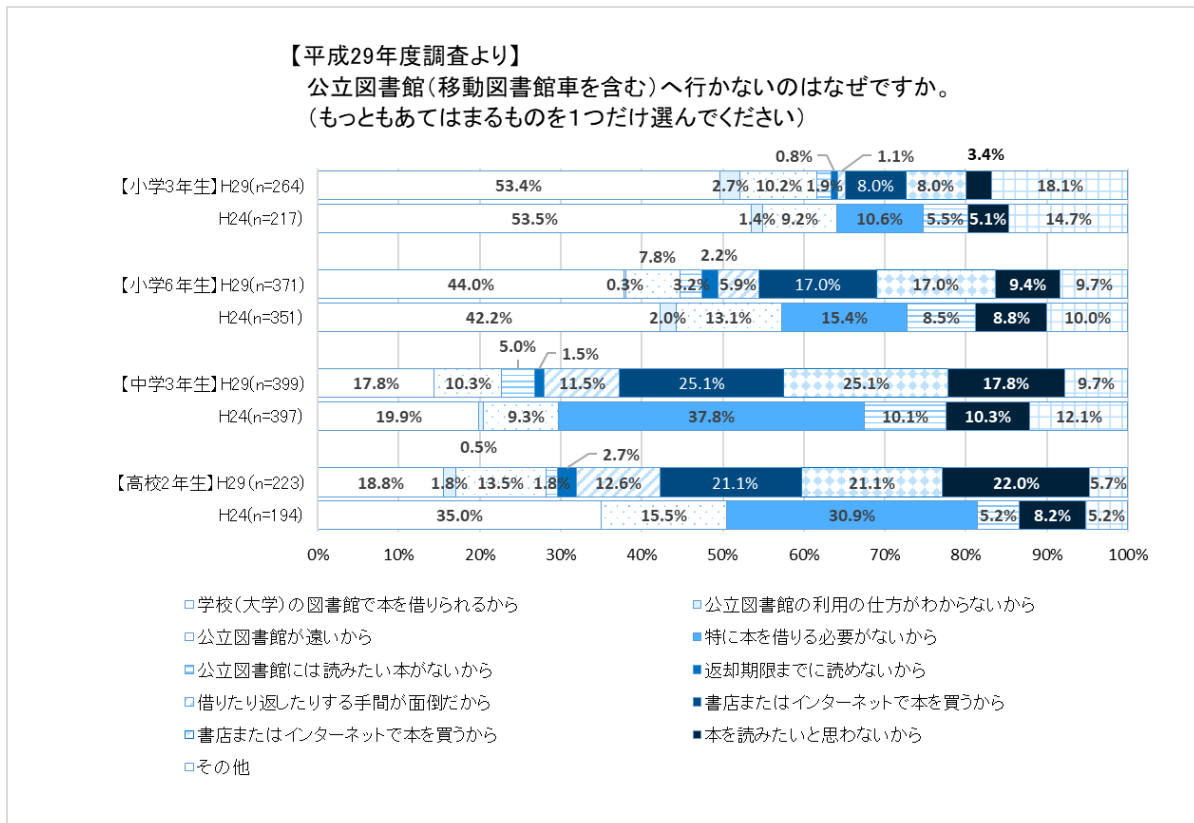
【調査結果の概要】

- ・小学生は「学校で本を借りているから」と回答した割合が最も高い。(小学3年生：65.1% 小学6年生：47.0%)
- ・「本を買って読むから」と回答した割合が中学生(47.7%)、高校生(41.3%)と小学生に比べて高い傾向が見られた。
- ・すべての調査対象において、小学生・高校生で約3割、中学生で約4割が図書館が家から遠いことを理由に挙げている。

【図表】



※参考



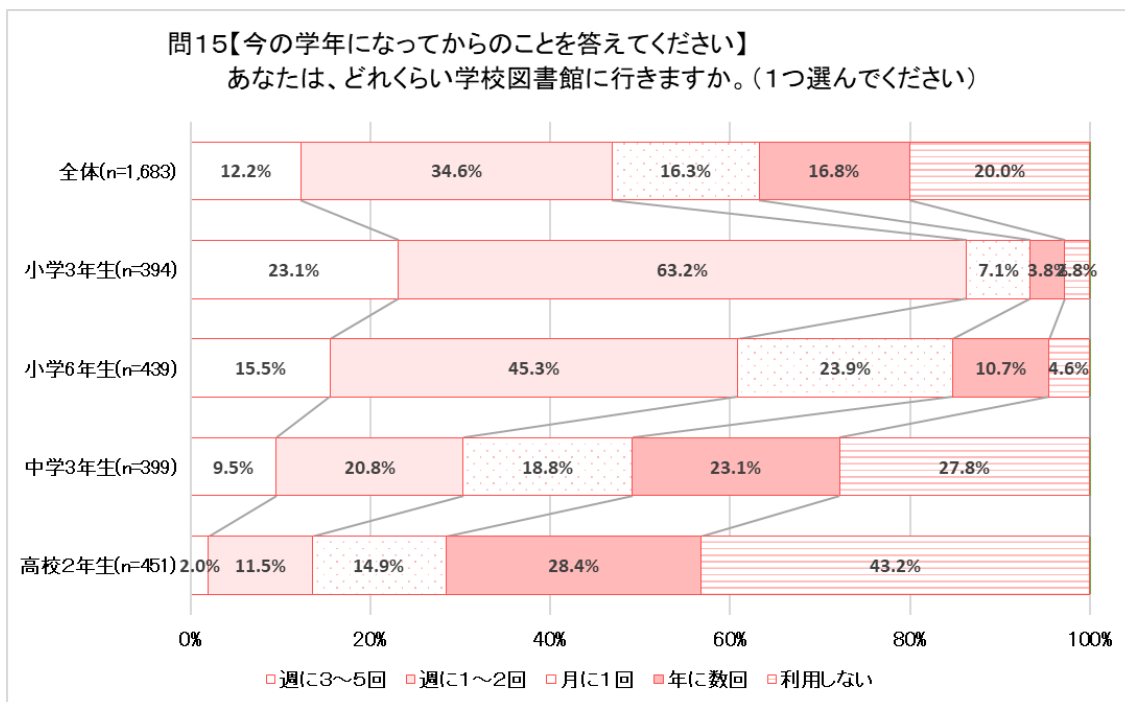
問15【今の学年になってからのことを教えてください】

あなたは、どれくらい学校図書館に行きますか。(1つ選んでください)

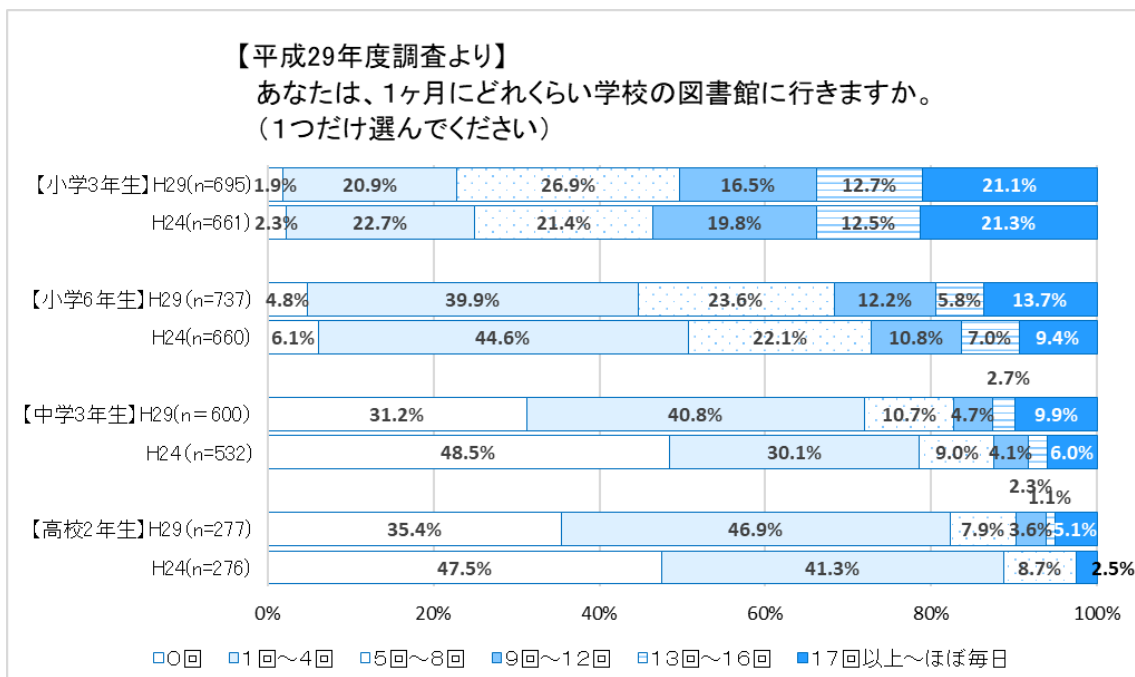
【調査結果の概要】

- ・小学生では「週に1～2回」と回答した割合が最も高く、小学3年生で約6割(63.2%)、小学6年生で約5割(45.3%)となった。
- ・「利用しない」と回答した割合は、中学生は約3割(27.8%)、高校生は約4割(43.2%)となり、学年が上がると学校図書館を利用しない傾向が高くなった。
- ・「週に3回～5回」、「週に1回～2回」と回答した割合を合わせると、小学3年生は約9割(86.3%)、小学6年生は約6割(60.8%)、中学生は約3割(30.3%)、高校生は約1割(13.5%)となり、利用している場合でも学年が上がると利用頻度は大幅に減少する。

【図表】



※参考

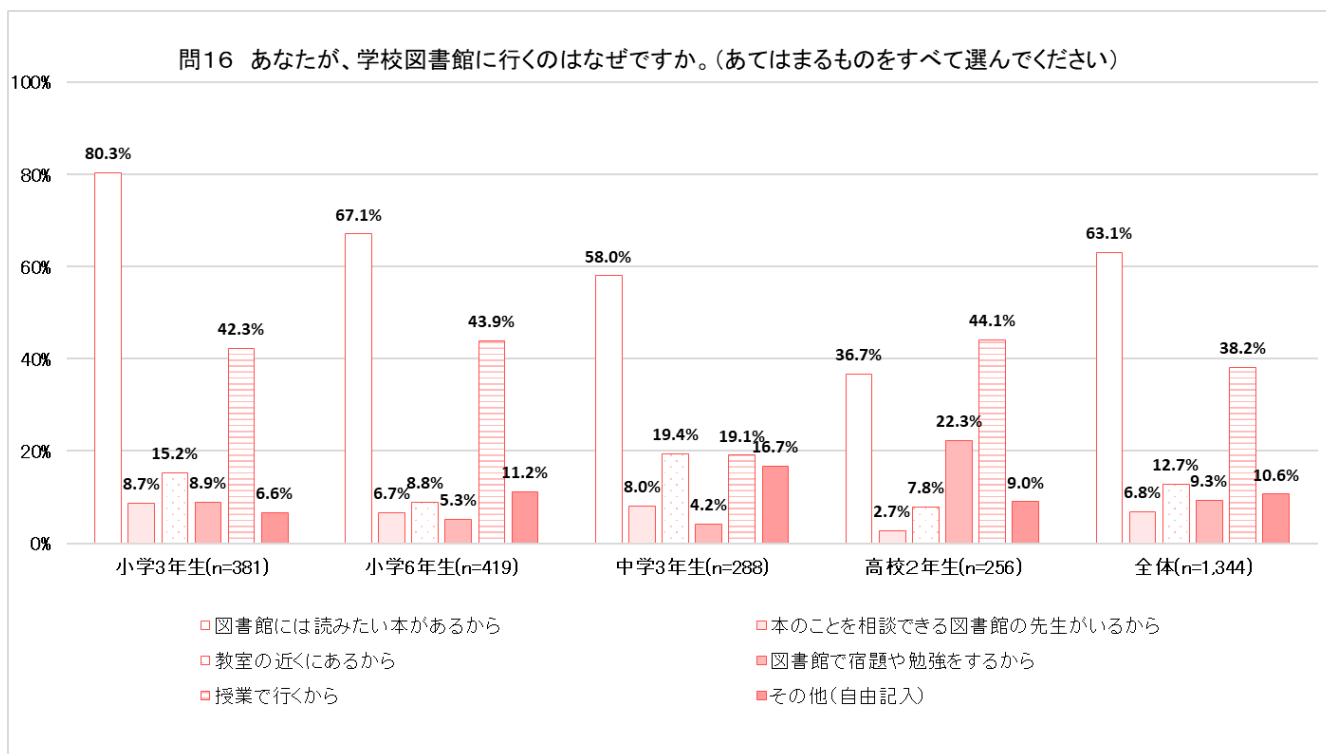


問16 あなたが、学校図書館に行くのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・「図書館には読みたい本があるから」と回答した割合は、小学3年生で約8割(80.3%)、小学6年生で約7割(67.1%)、中学生で約6割(58.0%)と高い。
- ・小学生・高校生では「授業で行くから」と回答した割合は4割を超えており、授業での利用が学校図書館へ行く理由のひとつとなっている。(小学3年生：42.3% 小学6年生：43.9% 高校2年生：44.1%)

【図表】



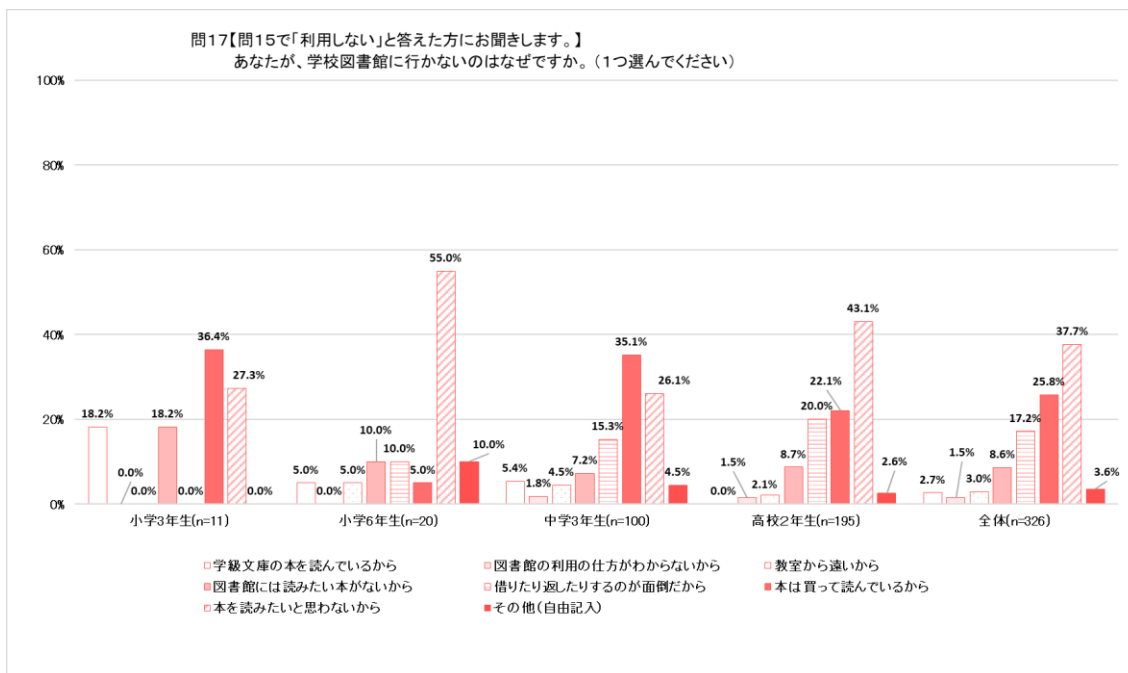
問17【問15で「利用しない」と答えた方にお聞きします。】

あなたが、学校図書館に行かないのはなぜですか。（1つ選んでください）

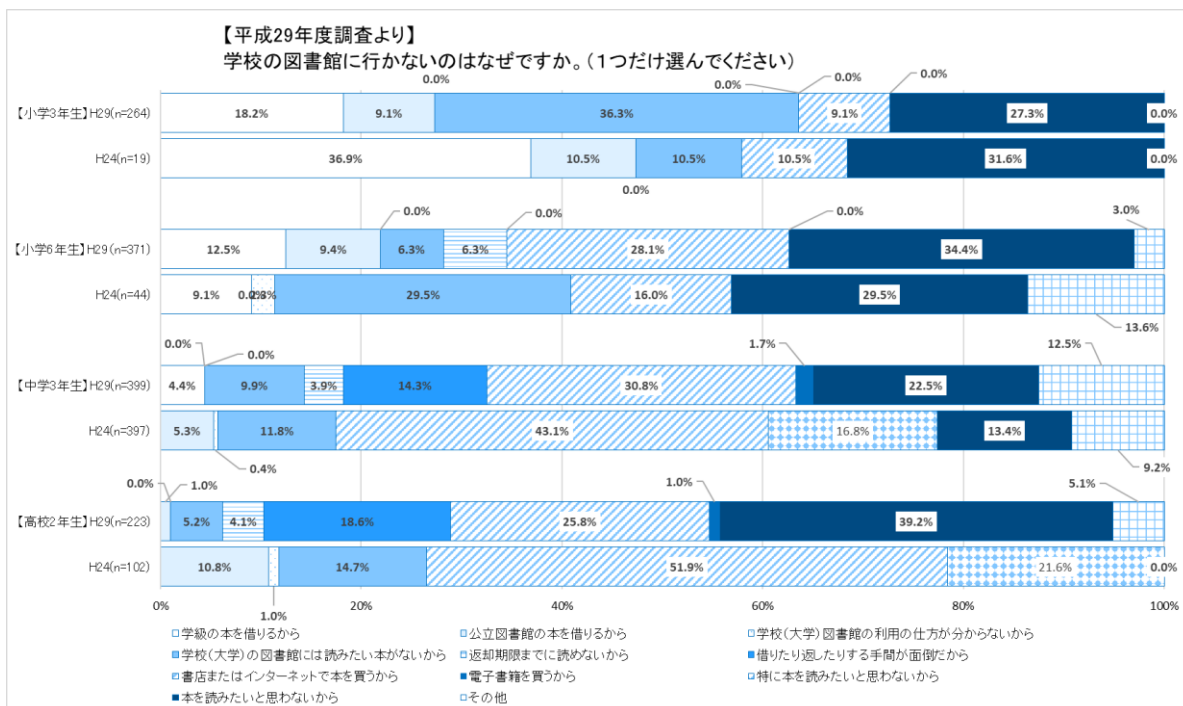
【調査結果の概要】

- 全体の結果では、「本を読みたいと思わないから」と回答した割合（37.7%）が最も高く、次いで「本は買って読んでいるから」（25.8%）、「借りたり返したりするのが面倒だから」（17.2%）の順となった。
- 「本を読みたいと思わないから」と回答した割合は、小学6年生で約6割（55.0%）、高校生で約4割（43.1%）と高い。
- 「本は買って読んでいるから」と回答した割合は、小学3年生（36.4%）、中学生（35.1%）で約4割となった。

【図表】



※参考



問18【今の学年になってからのことを教えてください】

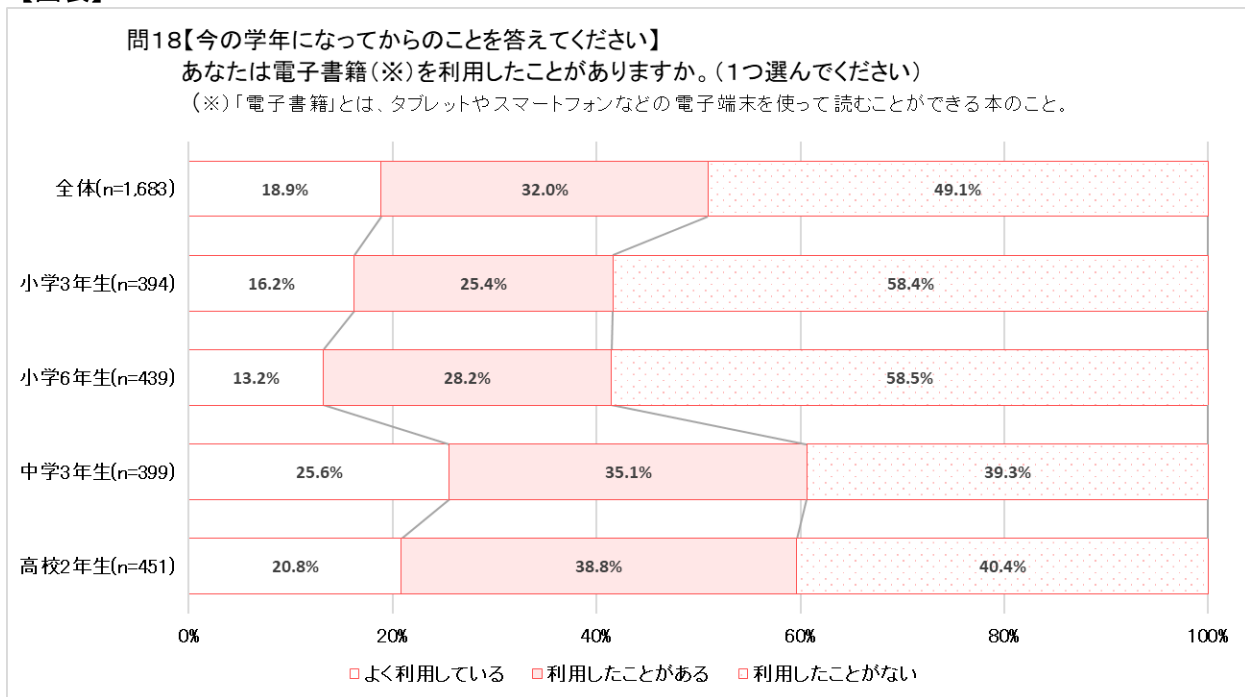
あなたは電子書籍（※）を利用したことがありますか。（1つ選んでください）

（※）「電子書籍」とは、タブレットやスマートフォンなどの画面で読むことのできる本のこと。

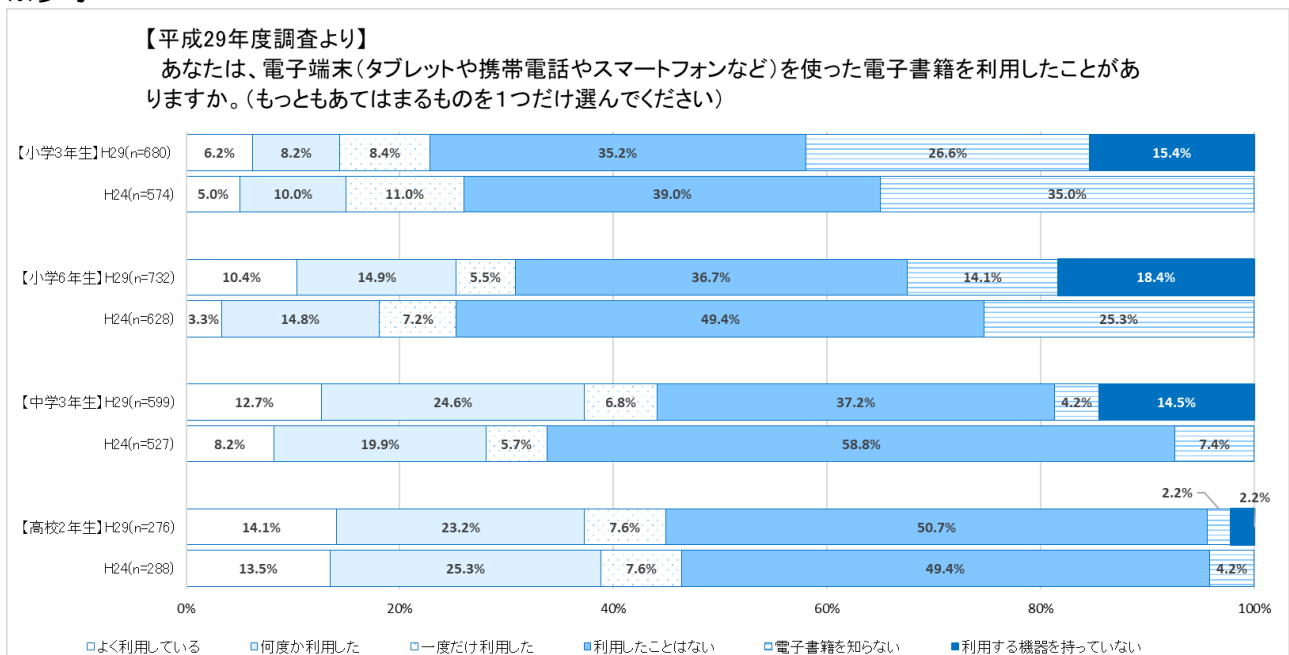
【調査結果の概要】

- 全体の結果では、「利用したことがない」と回答した割合は約5割（49.1%）となり、小学生では約6割となった。（小学3年生：58.4% 小学6年生：58.5%）
- 「よく利用している」、「利用したことがある」と回答した割合を合わせると、小学生で約4割、中学生・高校生では5割を超えており、学年が上がるにしたがって利用率は高くなった。（小学3年生：41.6% 小学6年生：41.4% 中学3年生：60.7% 高校2年生：59.6%）。
- 平成29年度調査の「よく利用している」、「何度か利用した」、「一度だけ利用した」と回答した割合を合わせると、小学3年生で約2割（22.8%）、小学6年生で約3割（30.8%）、中学生で約4割（44.1%）、高校生で約4割（44.9%）であり、令和5年度調査の「よく利用している」、「利用したことがある」を合わせた割合と比較すると、電子書籍を利用したことがある割合が増加した。

【図表】



※参考



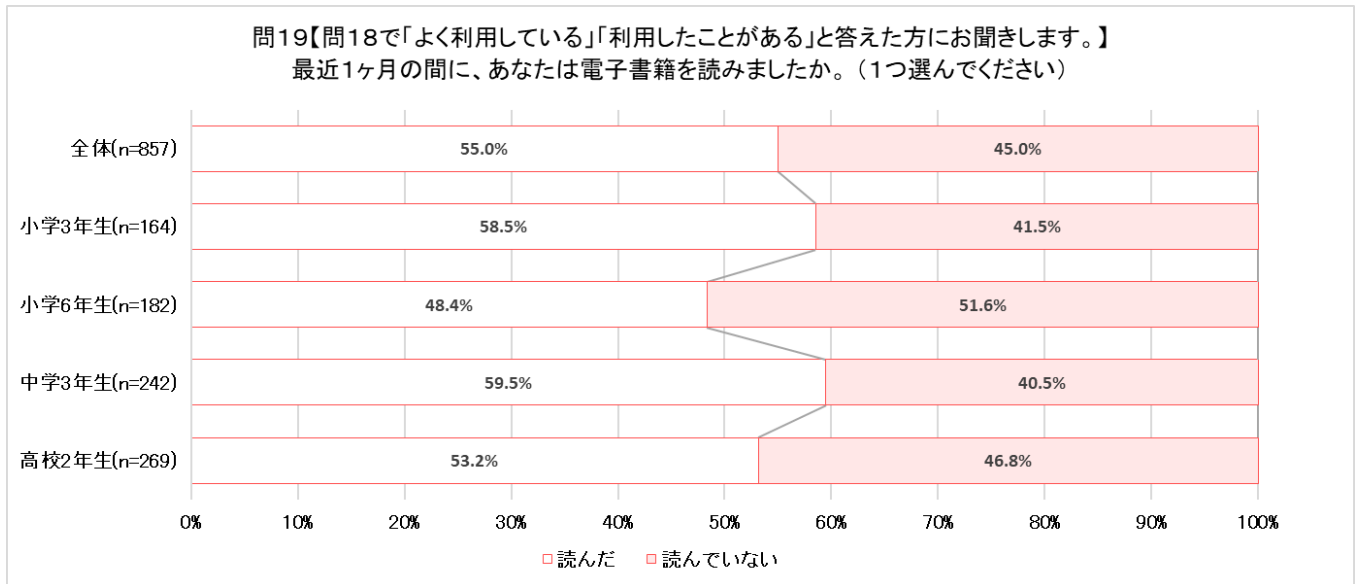
問19 【問17で「よく利用している」「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。】

最近1ヶ月の間に、あなたは電子書籍を読みましたか。（1つ選んでください）

【調査結果の概要】

- ・学年による大きな差はない。小学3年生、中学生で約6割、小学6年生、高校生で「読んだ」と回答した割合が約5割となった。

【図表】



令和5年度 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（保育所・幼稚園・認定こども園対象）

1 調査対象

調査対象数(園・所)	46
有効回答数(園・所)	28

2 調査結果

問1 園（所）では読み聞かせを実施していますか。

【調査結果の概要】

- ・読み聞かせは回答のあったすべての28園（所）で実施している。

【図表】

実施している	実施していない
28	0

問2 読み聞かせは誰が行っていますか。（あてはまるものをすべて選んでください）

【調査結果の概要】

- ・回答のあった28園（所）すべてで保育士・幼稚園教諭等が読み聞かせを実施しており、その他、読書ボランティアによる読み聞かせも5割（50.0%）となった。

【図表】

保育士・幼稚園教諭等	読書ボランティア	公立図書館の職員	その他（自由記入）
100.0%	50.0%	14.3%	7.1%

問3 読み聞かせは平均どれくらいの頻度で実施されていますか。

【調査結果の概要】

- ・回答のあったすべての28園（所）で「ほぼ毎日」実施されており、日常的に読み聞かせが行われている。

【図表】

ほぼ毎日	週1回程度	月1回程度	その他（自由記入）
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4 園(所)で購入する絵本や児童書はどのように選んでいますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・「新聞や雑誌、インターネット等で紹介された本から選ぶ」と回答した割合が約6割(57.1%)、次いで「図書館のおすすめ本を参考にする」が約4割(35.7%)、「書店に相談し、おすすめの本から選ぶ」が約3割(25.0%)の順となった。
- ・その他(自由記入)では、業者のおすすめ本を参考にする、職員が子どもの興味や園の活動等に合わせて選ぶ、絵本のカタログを見て選ぶ等の記述がみられ、入手した情報を参考にしながら選書を行っている。

【図表】

新聞や雑誌、インターネット等で紹介された本から選ぶ	図書館のおすすめの本を参考にする	書店に相談し、おすすめの本から選ぶ	その他(自由記入)
57.1%	35.7%	25.0%	60.7%

問5 読み聞かせの他に、読書への関心を高めるためにどのような取組をされていますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・「絵本コーナーの設置」と回答した割合は約9割(85.7%)、「家庭への絵本の貸出」が約8割(82.1%)と高い。その他(自由記入)には、絵本だよりを発行し家庭へ読み聞かせの大切さを啓発している、保育参加日の時に親子で絵本を読む時間を設ける等との回答もあり、園(所)や家庭で絵本の利用の推進に積極的な取組が見られる。
- ・「パネルシアター(※)」は約5割(46.4%)となり、その他(自由記入)では、紙芝居、絵本をもとにした劇等と回答する園(所)もあり、読書への関心を高める様々な工夫がされている。
(注) ※パネルシアター…毛羽立ちのいい布を貼った舞台に、不織布に絵を描いて作った人形等を貼ったりはずしたり、動かしたりして行う劇のこと。

【図表】

家庭への絵本の貸出	絵本コーナーの設置	給食で絵本等に登場した料理やおやつを提供	パネルシアター	特に実施していない	その他(自由記入)
82.1%	85.7%	14.3%	46.4%	3.6%	39.3%

問6 保護者会や各種通信等を通じて、読書や読み聞かせの意義等を家庭へ説明していますか。

【調査結果の概要】

- ・読書や読み聞かせの意義等を家庭へ説明していると回答した園（所）は約9割（92.9%）であり、家庭への働きかけが行われている。

【図表】

している	していない
92.9%	7.1%

問7 読書活動の推進に取り組む上で特に課題だと感じることはなんですか。

（あてはまるものを3つまで選ぶことができます）

【調査結果の概要】

- ・「読み聞かせ等に関する職員研修の充実」（53.6%）、「園（所）で購入する絵本や児童書の選書」（46.4%）と回答した割合が約5割と高くなった。次いで「読書ボランティアとの連携」が約3割（32.1%）、「公立図書館との連携」は約1割（14.3%）となった。
- ・その他（自由記入）では、保護者への啓発や絵本を購入する予算の確保等を課題と捉えている記述も見られた。

【図表】

読み聞かせ等に関する職員研修の充実	園（所）で購入する絵本や児童書の選書	公立図書館との連携	読書ボランティアとの連携	特になし	その他（自由記入）
53.6%	46.4%	14.3%	32.1%	14.3%	21.4%

問8 子どもの読書活動の推進について、ご意見があればご記入ください。（自由記入）

【調査結果の概要】

- ・家庭でのゲームや動画視聴の時間が多くなり、家庭において親子でゆっくりと絵本を楽しむ時間が減っていると感じるという意見や、保護者の読みきかせ（読書）への理解を深めるため普及啓発が必要だと感じているという意見などがあつた。
- ・祖父母の世代に向けた絵本をテーマとしたワークショップや家庭でのメディアコントロールと読み聞かせに関するイベント等の開催を求める声もあつた。

令和5年度 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（学校対象）

1 調査対象

調査対象	小学校・義務教育学校	中学校・義務教育学校	高等学校	合計
調査対象数(校)	34	18	16	68
有効回答数(校)	32	7	15	54

2 調査結果

問1 子どもたちへ読書の関心を高めるためにどのような取組をされていますか。
 (あてはまるものをすべて選んでください)

【調査結果の概要】

- ・小学校、中学校、高校とも、「本の展示」、「おすすめ本の紹介」、「授業での図書館利用」、「図書館の利用ガイドンス」と回答した割合は約9割と高い。
- ・小学校では、それに加え、「読み聞かせ」(96.9%)や「読書ボランティアとの連携」(96.9%)にも積極的である。
- ・中学校では、その他(自由記入)には「本のポップ(※1)作り」「ポップコンテストへの参加」が挙げられている。
- ・高校では、「ビブリオバトル(※2)」の取組(33.3%)もあり、小学校・中学校と比べて高くなった。また、その他(自由記入)には、図書委員の生徒による紹介ポップの作成、図書委員会だよりの発行、図書委員主催イベントなど、教職員からの働きかけに加え、図書委員の活動も挙げられている。
- ・「朝読書等の一斉読書」は、小学校・中学校の実施率はほぼ100%と高く、高校では53.3%となった。

(注) ※1 ポップ…書店の店頭等で見られる、短い文で本の内容や魅力を伝えるカードのこと

※2 ビブリオバトル…発表者が好きな本を持ち寄って紹介し合い、会場の観覧者による投票で、一番読みたくなった本(チャンプ本)を決める知的書評合戦のこと

【図表】

	本の展示	読み聞かせ	ブックトーク	パネルシアター	ビブリオバトル	読書会	読書ボランティアとの連携
小学校(n=32)	93.8%	96.9%	65.6%	18.8%	15.6%	0.0%	96.9%
中学校(n=7)	100.0%	28.6%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%
高校(n=15)	93.3%	0.0%	20.0%	0.0%	33.3%	6.7%	0.0%
合計(n=54)	94.4%	61.1%	44.4%	11.1%	22.2%	3.7%	59.3%

	おすすめ本の紹介	学級文庫の設置	授業での図書館利用	朝読書等の一斉読書	図書館の利用ガイドンス	特に行っていない	その他(自由記入)
小学校(n=32)	96.9%	87.5%	93.8%	96.9%	87.5%	0.0%	3.1%
中学校(n=7)	100.0%	71.4%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	28.6%
高校(n=15)	100.0%	46.7%	93.3%	53.3%	100.0%	0.0%	20.0%
合計(n=54)	98.1%	74.1%	94.4%	85.2%	92.6%	0.0%	11.1%

問2 保護者会や各種通信等を通じて、読書や読み聞かせの意義等を家庭へ説明していますか。

(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・小学校では約8割(81.3%)、中学校では約6割(57.1%)が読書の意義等について家庭への説明を行っている。

【図表】

	している	していない
小学校(n=32)	81.3%	18.8%
中学校(n=7)	57.1%	42.9%
高校(n=15)	13.3%	86.7%
合計(n=58)	59.3%	40.7%

問3 外国にルーツを持つ児童生徒のために母語で書かれた本を所蔵していますか。

(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・外国にルーツを持つ児童生徒が在籍している学校は小学校(59.4%)、中学校(57.1%)と約6割となった。
- ・日本語を母語としない児童生徒は一定数在籍しているが、母語に対応した資料を「所蔵していない」と回答した割合は、小学校で約7割(73.7%)、中学校で約8割(75.0%)、高校で約5割(53.3%)であった。

【図表】

	在籍している			在籍していない
		所蔵している	所蔵していない	
小学校(n=32)	59.4%	26.3%	73.7%	40.6%
中学校(n=7)	57.1%	25.0%	75.0%	42.9%
高校(n=15)	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%
合計	70.4%	34.2%	65.8%	29.6%

問4 校内には特別支援学級がありますか。(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・調査を実施したすべての小学校、中学校には特別支援学級がある。

【図表】

	ある	ない
小学校(n=32)	100.0%	0.0%
中学校(n=7)	100.0%	0.0%
高校(n=15)	0.0%	100.0%
合計(n=39)	72.2%	27.8%

問5 障がいの状態や特性等を考慮した資料を所蔵していますか。(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・特別支援学級がある小学校、中学校において、小学校は約5割(53.1%)、中学校は約9割(85.7%)で障がいの状態や特性等に配慮した資料を「所蔵している」と回答した。

【図表】

	所蔵している	所蔵していない
小学校(n=32)	53.1%	46.9%
中学校(n=7)	85.7%	14.3%
高校(n=15)	53.3%	46.7%
合計(n=54)	57.4%	42.6%

問6 問5で「所蔵している」と回答した方へお聞きします。

(6-1) 所蔵している資料についてあてはまるものすべてを選択してください。

【調査結果の概要】

- ・回答が高い項目は次のとおりとなった。
 - ・小学校は、「点字図書」(58.8%)、「さわる絵本」(58.8%)と回答した割合が高い。
 - ・中学校は、「点字図書」(50.0%)、「さわる絵本」(33.3%)の順に高い。
 - ・高校は、「点字図書」(75.0%)、「さわる絵本」(50.0%)の順に高い。
- 小学校、中学校、高校すべてで「点字図書」「さわる絵本」と回答した割合が高く、その他の資料を所蔵している学校は3割に満たない。

【図表】

	点字図書	拡大図書	録音図書	さわる絵本	布の絵本	LLブック (やさしく 読める本)	デジター図 書	マルチメ ディアデ ィー図書	手話や字幕 のついたDV D	その他 (自由記入)
小学校(n=17)	58.8%	11.8%	0.0%	58.8%	5.9%	23.5%	0.0%	5.9%	11.8%	11.8%
中学校(n=6)	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%
高校(n=8)	75.0%	12.5%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(n=31)	61.3%	9.7%	0.0%	51.6%	6.5%	12.9%	0.0%	6.5%	9.7%	12.9%

(6-2) 障がい等に配慮した資料について、公立図書館に相談したり、資料を借りることがありますか。(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・障がい等に配慮した資料について、公立図書館に相談したり、資料を借りる等している割合は、小学校で約4割(41.2%)、中学校で約7割(66.7%)、高校で5割(50.0%)であった。

【図表】

	ある	ない	その他 (自由記入)
小学校(n=17)	41.2%	52.9%	5.9%
中学校(n=6)	66.7%	16.7%	16.7%
高校(n=8)	50.0%	50.0%	0.0%
合計(n=31)	48.4%	45.2%	6.5%

問7 児童生徒へ地域の公立図書館の利用方法を説明したり、利用をすすめたりすることがありますか。(1つ選んでください)

【調査結果の概要】

- ・児童生徒へ公立図書館の利用等について説明を行っている割合は、小学校、中学校、高校のいずれも高い。特に高校では約9割(93.3%)となった。

【図表】

	ある	ない
小学校(n=32)	71.9%	28.1%
中学校(n=7)	85.7%	14.3%
高校(n=15)	93.3%	6.7%
合計(n=54)	79.6%	20.4%

問8 読書活動の推進に取り組む上で特に課題だと感じることはなんですか。(あてはまるものを3つまで選ぶことができます)

【調査結果の概要】

- ・小学校、中学校、高校で、「ICTを活用した読書推進の取組」と回答した割合が約7割と最も高く、次いで「学校図書館の資料の充実」が5割を超えている。小学校から高校まで共通の課題を抱えていることが分かる。

【図表】

	読み聞かせやブックトーク等のノウハウ	学校図書館の資料の充実	図書館システムの導入や蔵書のデータベース化	公立図書館の活用・連携	読書ボランティアとの連携	ICTを活用した読書推進の取組 (例. 図書だよりの配信、図書委員によるおすすめ本の紹介動画の作成)	特になし	その他(自由記入)
小学校(n=32)	28.1%	53.1%	15.6%	21.9%	3.1%	65.6%	3.1%	9.4%
中学校(n=7)	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%	57.1%
高校(n=15)	13.3%	53.3%	13.3%	20.0%	6.7%	66.7%	6.7%	33.3%
合計(n=54)	22.2%	53.7%	14.8%	20.4%	3.7%	66.7%	5.6%	22.2%

問9 子どもの読書活動の推進について、ご意見があればご記入ください。

【調査結果の概要】

- ・一斉読書の時間縮小から教職員が読書の良さを伝えることを意識する必要がある、子どもたちは個人差があるものの教員が薦めた本は読む傾向にあるなどの意見があり、学校での読書推進には教職員の理解や働きかけが重要であることが分かる。
- ・コロナの感染拡大に伴う利用制限がなくなったが現在でも学校図書館の利用が回復しないこと、子どもたちがデジタルに触れる機会が多くなっていることなど、近年の子どもの読書環境の変化に対応した読書推進の取組が必要だと捉えていることが分かった。
- ・本を読むことは好きだがすすんで読書をする子どもが減っているように感じる、本を読まない子や文字を追うことに困難を感じる子が増えているように感じる等といった所感もあり、小学校、中学校、高校が連携して読書活動を推進することが必要との意見もあった。